

Management Guide
PV1210CN

Management Guide
FXC-PV1210CN
Management Guide

Management Guide
PV1210CN

Management Guide

本マニュアルについて

- 本マニュアルでは、FXC-PV1210CNの各種設定方法について説明します。



(白紙)

目次

| | | |
|-------|--|----|
| 1. | はじめに..... | 1 |
| 2. | ネットワーク設定..... | 2 |
| 2.1 | ケーブル接続..... | 2 |
| 2.2 | IP カメラのネットワーク設定..... | 3 |
| | DHCP 機能の有効..... | 3 |
| | IP アドレスの設定..... | 3 |
| 3. | ソフトウェアとネットワークの操作方法..... | 4 |
| 3.1 | Microsoft Internet Explorer..... | 4 |
| | IP カメラへの接続..... | 4 |
| | ライブビデオ..... | 5 |
| | 設定..... | 8 |
| | イメージ設定の変更..... | 10 |
| | ネットワーク設定の変更..... | 15 |
| | システム設定の変更..... | 24 |
| | アプリケーション設定の変更..... | 31 |
| | SD カード設定の変更..... | 44 |
| | 装置情報..... | 45 |
| 3.2 | PPPoE と DDNS..... | 46 |
| | PPPoE の使用..... | 46 |
| | PPPoE 設定..... | 47 |
| | インターネット接続テスト..... | 47 |
| | DDNS 設定..... | 47 |
| 4. | システムソフトウェアのアップデート..... | 48 |
| 5. | アドバンスドオペレーション..... | 49 |
| 付録 A. | IP カメラ UPnP..... | 52 |
| | PC の IP クラスをチェック..... | 53 |
| | UPnP パケットのインストール..... | 56 |
| | サービスの始動..... | 59 |
| | マイネットワークでの IP カメラスキャン..... | 61 |
| 付録 B. | ARP 機能..... | 62 |
| | Windows または MS-DOS からの ARP と PING..... | 62 |
| | UNIX または GNU/Linux からの ARP と PING..... | 62 |
| 付録 C. | IP カメラの MPEG4 ビットレート参照用テーブル..... | 63 |
| 付録 D. | FAQ..... | 64 |

1. はじめに

新たに設計された、MJPEG/MPEG4 マルチストリーム圧縮コーデック Mega-Pix IP 固定ドームカメラは、MJPEG、MPEG4 の同時ビデオコーデックストリームを提供します。

この IP カメラは、30fps フレームレート（NTSC システム）、モーションディテクション、内蔵マイクロフォンのみではなく、デイ/ナイト、プレ/ポストアラーム、PoE 機能もサポートしています。

この装置からのイメージはインターレースを持たず、使用されるカメラセンサーは 1/3" VGA CMOS センサーです。

加えて、2 つのビデオコーデックが同時にコンピュータへ接続している際に、異なる解像度のレートの同時使用を可能にする、パワフルなマルチプロフィール機能を持ちます。

また、フレンドリーな PnP 機能、SD カード使用によるアラームのキャプチャと計画的レコーディングを提供します。

IP カメラは、昼夜監視のためのバンダブルーフボディを装備しています。

特殊な 3 軸の機械的なデザインで、天井または壁取付けの防振据付方式を採用。360°パンおよび 180°チルトのワイドアングルビューイングを提供します。

2. ネットワーク設定

2.1 ケーブル接続

IP カメラをコンピュータまたはネットワークへ接続し、適切な RJ-45 ケーブル設定を行うため、以下の説明に従ってください。

表 4-1 イーサネット RJ-45 ケーブルの物理的仕様

| | |
|---------|---------------------------------|
| ワイヤタイプ | Cat.5 |
| コネクタタイプ | RJ-45 |
| ケーブル最大長 | 100m |
| ハブ配線設定 | straight Through または cross over |
| PC 配線設定 | straight Through または cross over |

2.2 IP カメラのネットワーク設定

ネットワークハードウェアとの接続後、ネットワーク機能を作動させ、IP カメラの適切なネットワーク設定を行う必要があります。

DHCP 機能の有効

DHCP 機能は、接続される LAN に DHCP サーバが存在する場合のみ機能します。DHCP サーバが動作している場合、DHCP プロトコルの使用を有効にします。IP カメラは DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得します。

[メモ] IP カメラソフトウェアの初期設定では DHCP は OFF になっています。ユーザはカメラ環境を静的アドレスで構築出来ます。静的アドレスの初期設定は 192.168.1.168 です。LAN ユニットが DHCP サーバに接続されていない場合、カメラのアドレスを手動で設定することができます。DHCP サーバが LAN 上で動作している場合には DHCP プロトコルを有効にし、DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得することが出来ます。カメラはビデオ出力によって、モニタのビデオ入力コネクタへの BNC コネクタ経由でリンクされます。この接続がある場合、モニタスクリーンでカメラ工場出荷時設定アドレスなどの情報を見ることが可能です。

IP アドレスの設定

ユニットの IP アドレスを設定を初期値から変更する場合は、以下の説明に従ってください。

IP、マスク、ゲートウェイを設定してください。以下はサンプル設定です。

IP : 192.168.1.X
マスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 0.0.0.0

[メモ 1] 1 つの IP カメラユニットが PC または LAN に接続される際、IP カメラの IP アドレスは自由に割り当てることができます。例えば、IP カメラの IP アドレスの範囲は 192.168.1.1 から 192.168.1.255 があります。IP の範囲から使用する 1 つを選択することが可能です。マスクとゲートウェイの設定を行う必要はないので、デフォルト設定を残してください。IP カメラが WAN に接続されている際には、ネットワークアーキテクチャに準じて、単一で恒久的な IP アドレスを獲得し、マスクとゲートウェイを正確に設定する必要があります。もしこれらの設定に関して疑問がある場合、MIS 専門家あるいは ISP に相談してください。

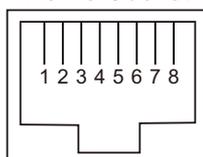
[メモ 2] ネットワークに接続する際、接続されたそれぞれの IP カメラは、ネットワークアドレスと同じクラスタイプに属した、単一の IP を割り当てられなくてはなりません。IP アドレスはピリオドで分割される番号の 4 つのセットで表されます。(例 : 192.168.1.1) 接続されたネットワークがクラス C と認識される場合、IP カメラの IP アドレスの始めから 3 セットの番号はネットワークアドレスと同じになります。接続されたネットワークがクラス B と認識される場合、IP カメラの IP アドレスの始めから 2 セットの番号はネットワークアドレスと同じになります。もしこれらの設定に関して疑問がある場合、MIS 専門家あるいは ISP に相談してください。

3. ソフトウェアとネットワークの操作方法

イーサネットのRJ-45 ピン設定

| PIN No. | ピンアサイメント |
|---------|----------|
| 1. | TX+ |
| 2. | TX- |
| 3. | RX+ |
| 4. | 未接続 |
| 5. | 未接続 |
| 6. | RX- |
| 7. | 未接続 |
| 8. | 未接続 |

RJ-45 Socket



イーサネットの物理仕様

| | |
|---------|---------------------------------|
| ワイヤタイプ | Cat. 5 |
| コネクタタイプ | RJ-45 |
| ケーブル最大長 | 100m |
| ハブ配線設定 | straight through または cross over |
| PC 配線設定 | straight through または cross over |

3.1 Microsoft Internet Explorer

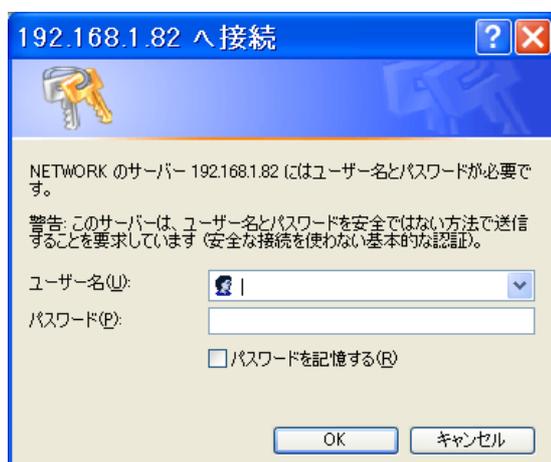
IP カメラへの接続

- (1) Internet Explorer を起動し、以下の手順に従い IP カメラへ接続します。
- (2) 画面上部の URL ブロックをクリックします。
- (3) IP カメラの URL アドレスを入力後 "Enter" キーを押し、ホームページへ入ります。
- (4) ユーザ名とパスワードを入力します。
- (5) < OK > ボタンをクリックします。

[メモ1] ユーザ名とパスワードの初期設定は "admin"、"admin" です。

[メモ2] パスワード入力画面は以下になります。
この画面が表示された時には、IP カメラのユーザ名とパスワードを入力してください。

[メモ3] 一旦認証に成功すると、ユーザ名・パスワードの入力はウィンドウを閉じるまで必要ありません。

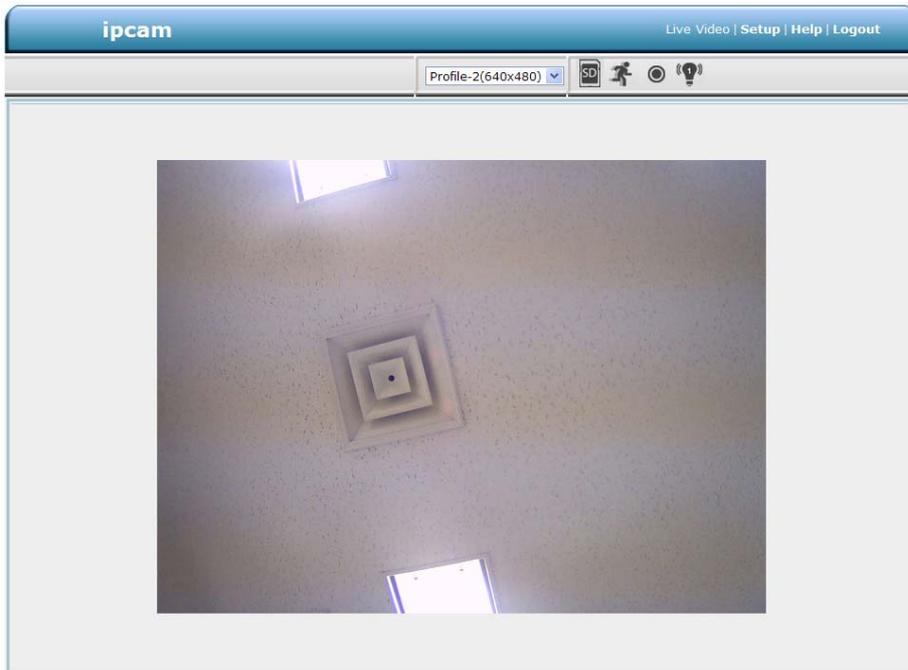


ライブビデオ

IP カメラからのイメージは IP カメラがオンラインの間、ホームページに表示されます。ホームページ上のボタンで各種設定を行います。

AJAX (デフォルト) ビューワータイプと ActiveX ビューワータイプでは、ホームページ上のメニュー形式は異なります。

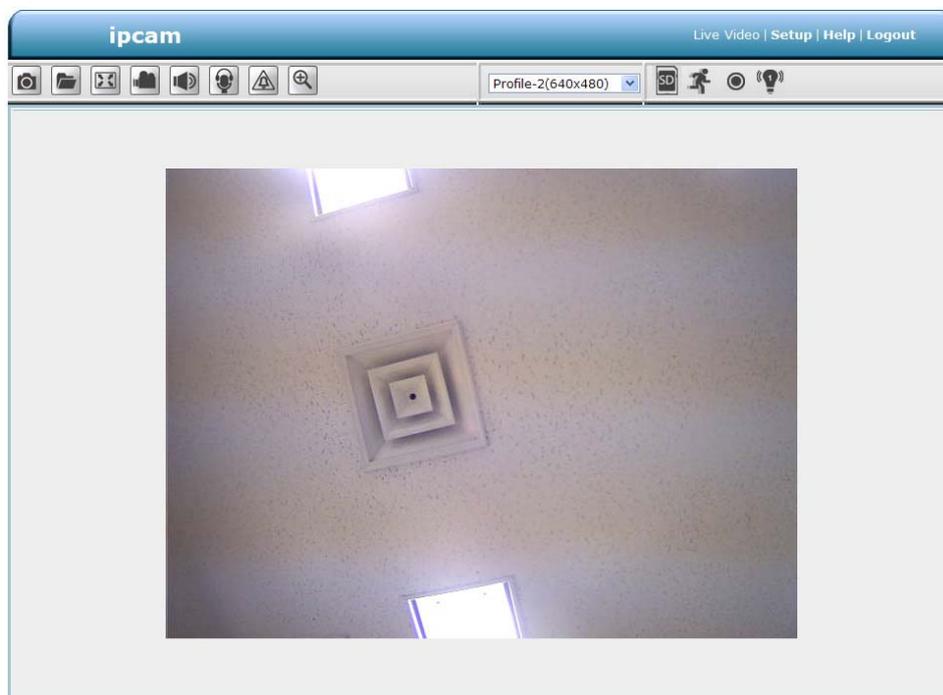
AJAX ビューワータイプ: JPEG モードに限り IE 以外のブラウザもサポート



-  Profile-1(1280x960) をクリックし、設定ページで既に設定した対の解像度とクオリティを変更します。
-  SD カードアイコン：SD カードが挿入されているか否かをチェックします。SD カードが挿入されている際、アイコンは赤色になります。
-  Motion-ON アイコン：動体の検出がある時、ユーザへの警告の為、右上の角にアイコンが現れます。モーションディテクション発動時、アイコンは赤に点滅します。
-  Status Recording ON アイコン：右上にアイコンがあります。レコーディング中、アイコンは赤になり、挿入されている SD カードへイメージを記録します。
-  Alarm ON アイコン：センサーなどの外部装置が検出された時、ユーザへの警告の為、アイコンが右上に現れます。アラーム発動時、アイコンは赤く点滅します。
-  Alarm ON アイコン：センサーなどの外部装置が検出された時、ユーザへの警告の為、アイコンが右上に現れます。アラーム発動時、アイコンは赤く点滅します。

ActiceX ビューワータイプ

利用可能なサムネールから選択が可能です。



-  Snapshot : スナップショットが撮れます。稼動中アイコンは青色に変わります。
-  Set Storage Path : スナップショットおよびビデオクリップの保存フォルダを選択できます。
-  Full Screen : フルスクリーンモードへ入ります。稼動中アイコンは青色に変わります。
-  Record Switch : ビデオクリップの記録を行います。稼動中アイコンは青色に変わります。
-  Audio Switch : オーディオ入力機能 (listen/stop listening) をスタート / ストップします。稼動中アイコンは青色に変わります。
-  Talk Switch : オーディオ出力機能 (talk/stop talking) をスタート / ストップします。稼動中アイコンは青色に変わります。
-  Digital Output : デジタル出力をスタート / ストップします。稼動中アイコンは青色に変わります。

-  Zoom : "Zoom" ウィンドウがポップアップします。稼動中、アイコンは青色に変わります。スクロールバーを右が左に動かし、ライブビューをズームインまたはズームアウトすると、赤線の "Active Frame" は狭まったり広くなったりします。



- Live Video : 装置のホームページへ戻ります。
- Setup : 各種設定画面へ入ります。
- Logout : ウィンドウを閉じます。

設定

ホームページ上の「Setup」メニューをクリックし、設定画面へ入ります。

ウィザード

IP カメラの設定を簡単 / 迅速に行うため、Setup ページの Wizard をクリックしてください。このウィザードは、新しいカメラの設定およびインターネットの接続をステップバイステップでガイドします。

The screenshot shows the 'ipcam' setup wizard's welcome screen. It has a blue header with 'ipcam' in white. Below the header, it says 'Welcome to setup wizard - internet connection setup'. A paragraph explains that the wizard will guide the user through a step-by-step process to configure the camera and connect it to the internet. It also notes that to set up camera motion detection settings, the user should click the 'Back' button to close this wizard and reopen the motion detection setup wizard. A bulleted list shows the five steps: Step 1: Setup LAN Settings, Step 2: Setup Internet Settings, Step 3: Setup DDNS Settings, Step 4: Camera Name Settings, and Step 5: Setup Time Zone. At the bottom, there are three buttons: 'Back', 'Next', and 'Cancel'.

「Next」をクリックして続けます。

Step1

The screenshot shows the 'ipcam' setup wizard's Step 1: Setup LAN Settings screen. It has a blue header with 'ipcam' in white. Below the header, it says 'Step 1: Setup LAN Settings'. A paragraph explains that the user should select whether the camera will connect to the Internet with a DHCP connection or Static IP address. It recommends keeping the default selection of the DHCP connection unless the user is sure of the settings. Below the text, there is a checkbox labeled 'Enable DHCP' which is currently unchecked. Below the checkbox are five input fields: 'IP address' with the value '192.168.1.168', 'Subnet mask' with '255.255.255.0', 'Default Gateway' with '0.0.0.0', and 'Primary DNS' with '192.168.1.1'. At the bottom, there are three buttons: 'Back', 'Next', and 'Cancel'.

IP ボックスカメラの初期設定では、DHCP はオフになっています。初期設定の静的 IP アドレスは 192.168.1.168 です。

LAN ユニットが DHCP サーバに接続されていない場合、IP ボックスカメラを静的アドレスで動作する環境を構築する為、IP アドレスを設定することが可能です。

もしくは、LAN で DHCP サーバが動作する環境であるならば、「Enable DHCP」にチェックを入れ、DHCP プロトコルを使用することが可能です。

ISP から接続設定を提供されている場合、またはホームネットワーク上で静的アドレスの設定を望む場合、設定したい静的アドレスの正確な情報を入力してください。

「Next」をクリックし、次へ進みます。

Step2

The screenshot shows the 'ipcam' setup wizard's Step 2: Setup Internet Settings screen. It has a blue header with 'ipcam' in white. Below the header, it says 'Step 2: Setup Internet Settings'. A paragraph explains that the user should enter their ISP Username and Password in the case that their ISP is using PPPoE and then click on the Next button. It also notes that the user should contact their ISP if they do not know their Username and Password. Below the text, there is a checkbox labeled 'Enable PPPoE' which is currently unchecked. Below the checkbox are two input fields: 'User Name' and 'Password'. The 'User Name' field has a placeholder text '(e.g. 654321@hinet.net)'. At the bottom, there are three buttons: 'Back', 'Next', and 'Cancel'.

PPPoE を使用する場合、「Enable PPPoE」にチェックを入れ、ユーザー名とパスワードを入力します。使用しない場合は、「Enable PPPoE」のチェックを外します。

「Next」をクリックし、次へ進みます。

Step3

ダイナミック DNS アカウントを持ち、カメラの IP アドレスの自動更新を望む場合、「Enable DDNS」にチェックを入れ、ホスト情報を入力します。
「Next」をクリックし、次へ進みます。

Step4

カメラの名前を入力し、「Next」をクリックして次へ進みます。

Step5

全てのイベントのトリガー、キャプチャ、スケジュールが正しい時間であることを保証するために、正確な TimeZone を設定してください。「Next」をクリックし、次へ進みます。

Step6

DHCP を選択している場合、カメラ設定のサマリが表示されます。これらの情報はネットワーク経由でカメラにアクセスする為に必要です。全ての情報を書き留めて置いてください。

「Apply」をクリックし、設定を保存します。

イメージ設定の変更

ネットワークを通してビデオ設定を変更する際には、以下の手順に従って下さい。イメージのプレビューはライブビデオの画面に表示されます。「Submit」をクリックし、機能の適用と変更の保存を行ってください。

イメージ設定ページ

- (1) ホームページの「Image」ボタンをクリックし、イメージ設定ページへ入ります。

The screenshot shows the 'ipcam' web interface. The top navigation bar includes 'Live Video | Setup | Wizard | Help'. The main menu has 'Image', 'Network', 'System', 'Application', 'Storage', and 'Status'. The 'Image' section is selected, showing 'IMAGE SETUP'. Under 'VIEWER TYPE', 'ActiveX' is selected. The 'IMAGE SETTINGS' section features a video preview window and various controls: AGC (32x), Exposure Time (Auto), Mirror (On), Flip (On), Power Line (60 Hz), White Balance (Auto), Brightness (4), Contrast (4), Saturation (128), Sharpness (4), and WDR Level (4). A 'Reset Default' button is located below these settings. The 'DEVICE SETTING' section includes 'Camera Name' (ipcam), 'Enable OSD' (unchecked), 'Timestamp Label' (ipcam), 'Timestamp Color' (WHITE), 'Timestamp Location' (UPPER LEFT), and 'Timestamp Format' (YYYY/MM/DD). A 'Submit' button is at the bottom.

- (2) 「Viewer Type」を設定します。クリックし、「AJAX」または「ActiveX」モードからビューワタイプを選択します。
- (3) 必要に応じ、「AGC」、「Exposure Time」、「Mirror」、「Flip」、「Power Line」、「White Balance」、「Brightness」、「Contrast」、「Saturation」、「Sharpness」、「WDR Level」等のイメージ設定を調整してください。

(4) 「Device Settings」でカメラ名およびタイムスタンプの設定を行います。

- 「Enable OSD」チェックボックスにチェックを入れ、機能を有効にします。
- 「Timestamp Color」を選択します。
- 「Timestamp Location」を選択します。
- 「Timestamp Format」を選択します。

(5) < Submit > ボタンをクリックし、新しいイメージ設定を適用します。

ファンクションキーの説明

| | |
|--------------------|---|
| AGC | AGC は自動ゲインコントロール「Automatic gain control」を省略したものです。既定をオーバーした強いレベルの信号が入力してきた時はゲインを制御して信号飽和を防ぎ、弱い信号の場合には既定のレベルまで上げて、一定レベルを保つ自動利得調整です。 |
| Exposure Time | 露光時間はシャッタースピードとレンズ絞りの照度レベルによって、カメラでコントロールされます。 |
| Mirror | Mirror は、それが監視の為に使用出来るように、反射したイメージを保存します。 |
| Flip | カメラレンズを 180 度フリップします。 |
| Power Line | 地域にあった周波数を選択します。 |
| White Balance | ホワイトバランスは、色温度が異なる光源状態でも、白色を正確に白く映し出すよう補正します。 |
| Brightness | 可変調整が逆光の場面などを補正します。 |
| Contrast | 色の輝度 / 強度の測定。 |
| Saturation | 黒および白からボールドの色の強さをコントロールします。 |
| Sharpness | イメージ内ディテールの明瞭度を設定します。 |
| WDR Level | カメラの WDR (Wide Dynamic Range) 機能は、被写体が逆光を受けている場合であっても、被写体と背景の両方を捕らえられるように設定を最適化します。 WDR は同じフレームで、明るいエリアと暗いエリア、両方のエリアの細部 (明るいエリアは飽和せず、暗いエリアは暗すぎず) とキャプチャ表示を可能にしますレベルのオプションを 0 から 8 の間で選択してください。0 が最低レベルで 8 は最高です。 |
| Timestamp Color | クリックしてリストを開き、「WHITE」, 「BLACK」, 「GREEN」, 「BLUE」, 「ORANGE」から選択します。 |
| Timestamp Location | クリックしてリストを開き、「UPPER LEFT」, 「UPPER RIGHT」, 「BOTTOM LEFT」, 「BOTTOM RIGHT」から選択します。 |
| Timestamp Format | クリックしてリストを開き、「YYYY/MM/DD」, 「MM/DD/YYYY」, 「DD/MM/YYYY」, 「YYYY/MM/DD TITLE」, 「MM/DD/YYYY TITLE」, 「DD/MM/YY TITLE」, 「TITLE YYYY/MM/DD」, 「TITLE MM/DD/YYYY」, 「TITLE DD/MM/YY」から選択します。 |
| Submit | 新しいイメージ設定を IP カメラに適用します。 |

オーディオ/ビデオ設定ページ

- (1) デバイスの詳細設定を行うため、「Audio and Video」をクリックし、オーディオ/ビデオ設定ページへ入ります。ビデオプロフィールを異なる設定でカメラに構築することが出来ます。そのため、コンピュータとモバイルディスプレイに異なるプロフィールを設定することが可能です。
加えて、カメラのオーディオ設定を行うことも出来ます。
機能を有効化し、設定を保存するために < Submit > をクリックしてください。

| Image | Network | System | Application | Storage | Status |
|-----------------|---|---|-------------|---------|--------|
| Image | AUDIO AND VIDEO | | | | |
| Audio and Video | VIDEO PROFILE 1 | | | | |
| Privacy Mask | Mode | MPEG4 | | | |
| Logout | Frame size | 1280x960 | | | |
| | Intra Frame Period | 1/3 S | | | |
| | Maximum frame rate | 30 | | | |
| | Video quality | Constant bit rate: 2M, Fixed quality: Highest | | | |
| | VIDEO PROFILE 2 | | | | |
| | Mode | JPEG | | | |
| | Frame size | 640x480 | | | |
| | Maximum frame rate | 15 | | | |
| | Video quality | Highest | | | |
| | VIDEO PROFILE 3 | | | | |
| | Mode | JPEG | | | |
| | Frame size | 640x480 | | | |
| | Maximum frame rate | 15 | | | |
| | Video quality | Highest | | | |
| | AUDIO SETTINGS | | | | |
| | Encoding | G.711 | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> Audio Mechanism Setting | | | | |
| | <input checked="" type="radio"/> Audio Source | | | | |
| | External audio input gain | 0 dB | | | |
| | <input type="checkbox"/> Audio out off | | | | |
| | Audio out volume level | 10 | | | |
| | Submit | | | | |

- (2) 必要に応じ、ビデオプロフィールの「Mode」、「Frame size」、「Maximum frame rate」、「Video quality」を設定します。
- (3) オーディオ機能の詳細を設定します。
- (4) < Submit > をクリックし、新しい設定を適用します。

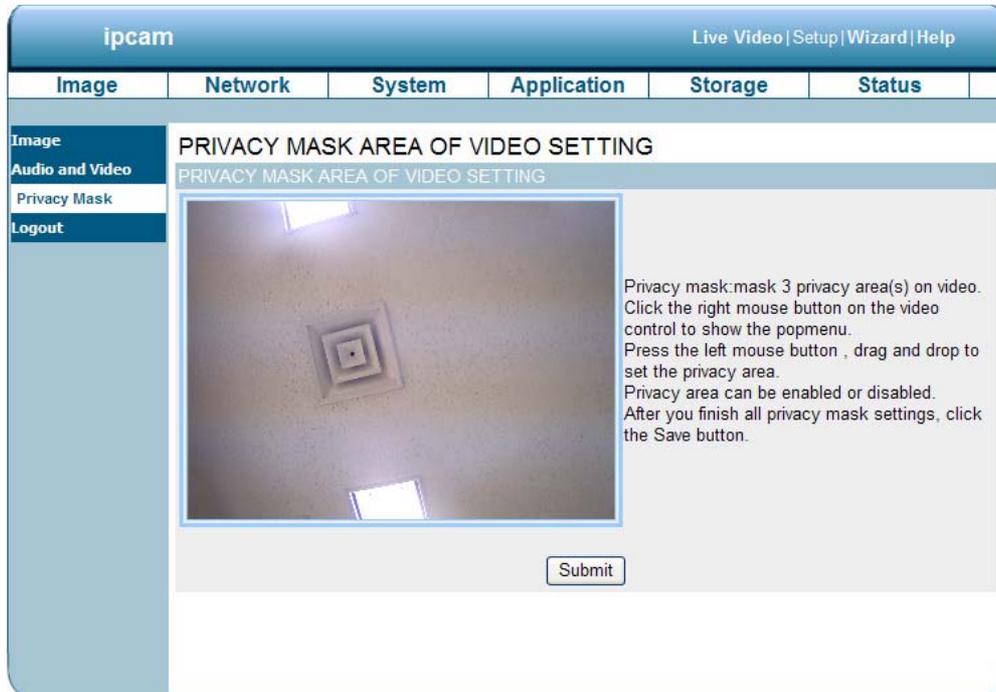
ファンクションキーの説明

| | |
|--------------------|--|
| Mode | 「JPEG」または「MPEG4」からビデオフォーマットを選択します。JPEG モードではビデオフレームは独立していますが、MPEG4 では JPEG よりもネットワーク帯域の消費が大幅に少なくなります。 |
| Frame size | 「1280x960」, 「1280x720」, 「640x480」, 「320x240」, 「160x120」からカメラの解像度を選択します。 |
| Maximum frame rate | クリックしてリストを開き「30FPS」, 「15FPS」, 「7FPS」, 「4FPS」, 「1FPS」からフレームレートを選択します。 |
| Video quality | 「Excellent」, 「Detailed」, 「Medium」, 「Good」, 「Standard」から、JPEG イメージの品質レベルを選択します。 「Constant bit」(8M、6M、4M、2M、1M、512K、256K、200K、128K、64K) または「Fixed Quality」(Highest、High、Medium、Low and Lowest) から MPEG4 イメージの品質レベルを選択します。 |
| Intra Frame Period | MPEG4 モードでは、ほとんど動きが無くビデオ内容の大部分がフレームからフレームへ変更しない場合、MPEG4 エンコーディングは、損失を回避するため、フレーム内方式によってビデオを圧縮することができます。フレーム内圧縮を使用する期間を希望の値に設定することが可能です。 |
| Audio Settings | 外部マイクロフォンの ON/OFF またはボリュームの調整を切り替えるオプションを使用することが可能です。 |
| Encoding | クリックしてリストを開き「G.711」または「G.726」からオーディオエンコーディングを選択します。「G.726」は「G.711」と全く同じ品質を提供しますが、半分の帯域幅しか使用しません。 |

ポリシーマスク設定ページ

「Privacy Mask」をクリックし、ポリシーマスクエリア設定ページへ入ります。

カメライメージ上の、レコーディングおよびスナップショットから阻止 / 除外される最大 3 つのエリアを指定する為、プライバシーエリアをマスクします。



- (1) ポップメニューを表示する為、ビデオコントロール上でマウスを右クリックします。
- (2) マウスの左ボタンを押し、ドラッグでプライバシーエリアを設定します。
- (3) プライバシーエリアは有効または無効にできます。
- (4) 全てのプライバシーマスクを設定後、 < Submit > ボタンをクリックします。

ネットワーク設定の変更

以下の手順に従い、ネットワーク設定の変更を行います。

ネットワークオプションと IP アドレスの設定

- (1) ホームページの「Network」メニューをクリックし、ネットワーク設定ページへ入ります。

- (2) この画面では、「PPPoE」、「Port Detail」、「Traffic」、「Dynamic DNS」、「HTTPS」、「Access List」を設定可能です。
- (3) 必要に応じ、「LAN Settings」で、ローカルエリアネットワークの設定を行ってください。
- (4) < Submit > ボタンをクリックし、新しいネットワーク設定を適用します。

ファンクションキーの説明

| | |
|-----------------------------|--|
| DHCP | ネットワーク上で DHCP サーバが動作していて、カメラへ動的 IP アドレスが自動的に更新されることを望む時は有効にします。 |
| DNS | (Domain Name System) はドメイン名を IP アドレス (例: 192.168.0.20) へ変換する為のインターネットサービスです。アドレスは ISP またはネットワークゲートウェイから取得出来ます。 |
| Enable UPnP Presentation | この項目にチェックを入れることで、カメラがネットワーク内で UPnP 装置として設定されることを可能にします。 |
| Enable UPnP port forwarding | この項目にチェックを入れることで、UPnP 能力があるネットワーク上で、カメラが自動的にルータの中へポートフォワーディングエントリを加えることを可能にします。 |

ネットワーク設定の変更 - PPPoE

Network ページの左上に「PPPoE」メニューがあります。

以下の手順に従い、PPPoE 設定の変更を行います。

- (1) 左上の「PPPoE」ボタンをクリックし、PPPoE 設定ページへ入ります。

- (2) 「PPPoE mode」の Enable または Disable をクリックし、機能を有効 / 無効にします。
 (3) PPPoE ユーザ名とパスワードを入力します。確認の為もう一度パスワードを入力します。
 (4) < Submit > をクリックし、新しい設定を適用します。

[メモ] 詳しくは P46 「PPPoE と DDNS」を参照してください。

ファンクションキーの説明

| | |
|---------------|--|
| PPPoE Setting | カメラを直接インターネットへ接続する場合、ISP でアカウントの設定を行った際に取得した、ユーザ名とパスワードを入力する必要があります。カメラがルータまたはゲートウェイの配下にある場合、この設定は必要ありません。 |
| Username | ISP ディーラから取得したユーザー名を入力します。 |
| Password | ISP ディーラから取得したパスワードを入力します。 |

ネットワーク設定の変更 - ポート詳細

Network ページの左上に「Port Detail」アイコンがあります。このページでは HTTP、RTSP ストリーミング両方のポートを予約および指定することが可能です。

以下の手順に従い、ポート詳細の設定を行います。

- (1) 左上の「Port Detail」ボタンをクリックし、ポート詳細ページへ入ります。

- (2) HTTP の MJPEG ストリーム用に「HTTP port」と「Access name for stream」を入力します。
- (3) 「HTTPS port」を入力します。初期設定値は 443 です。
- (4) RTSP の MJPEG または JPEG ストリーム用の「RTSP port」と「Access name for stream」を入力します。
- (5) < Submit > をクリックし、新しい設定を適用します。

ファンクションキーの説明

| | |
|------------|--|
| HTTP Port | HTTP ポートは一般的な Web ブラウザ経由でカメラへ接続を行うことを可能にします。このポート番号は初期 HTTP ポート 80 以外の番号に設定することもできます。例えば、ポートを 8080 へ変更された場合、ユーザは Web ブラウザに "http://192.168.0.100:8080" instead of "http://192.168.0.100" と入力します。 |
| HTTPS Port | HTTPS ポートはセキュアな処理によって PC と接続されます |
| RTSP Port | モバイルフォン、PDA のようなモバイル機器への RTSP ストリーミングに使用するポート番号。例えば、"live1.sdp" は "rtsp://x.x.x.x/video1.sdp where the x.x.x.x" でアクセスされることが可能なカメラの IP アドレスを表します。 |

[メモ] RTSP プレイヤを使用し、MPEG4 ストリーミングメディアを表示するために、Quick Time Player、Real Player 等の RTSP ストリーミングをサポートするプレイヤを使用出来ます。

- (1) RTSP プレイヤを起動します。
- (2) 「File」「Open URL」を選択すると、ダイアログボックスがポップアップします。
- (3) URL を入力し開きます。アドレス形式は "rtsp://<ip address>:<rtsp port>/<RTSP streaming access name for stream1, stream2 or stream3>" です。
- (4) プレイヤにライブビデオが表示されます。

ネットワーク設定の変更 - Network Traffic

アップロード/ダウンロード帯域幅に閾値を設定することは、カメラが負荷の高いネットワークに接続された際に効果があります。

以下の手順に従い、Traffic 設定の変更を行います。

- (1) 「Traffic」 ボタンをクリックし、トラフィックページへ入ります。

- (2) 「Maximum Upload Bandwidth」、「Maximum Download Bandwidth」を入力します。

- (3) < Submit > をクリックし、新しい設定を適用します。

ファンクションキーの説明

| | |
|----------------------------|------------------------------|
| Maximum Upload Bandwidth | 閾値 0 ~ 100000 までの入力しか受けられません |
| Maximum Download Bandwidth | 閾値 0 ~ 100000 までの入力しか受けられません |
| Submit | 新しい設定を IP カメラへ適用します。 |

ネットワーク設定の変更 - DDNS

DDNS (Dynamic Domain Name Server) は、ホスト名とグローバル IP アドレスを同期させます。

ユーザ名とパスワードは DDNS サービスを使用する時に必要です。

Network ページの左上に「DDNS」メニューがあります。

以下の手順に従い、DDNS 設定の変更を行います。

- (1) 左上の「DDNS」ボタンをクリックし、DDNS 設定ページへ入ります。

- (2) 「Enable DDNS」チェックボックスにチェックを入れ、機能を有効にします。

- (3) 「Server Address」、「Host Name」、「User Name」、「Password」、「Verify Password」、「Timeout」、「IP Address」を入力します。

- (4) 新しい設定を適用するために、< Submit > ボタンをクリックします。

[メモ] 詳しくは P46 「PPPoE と DDNS」を参照してください。

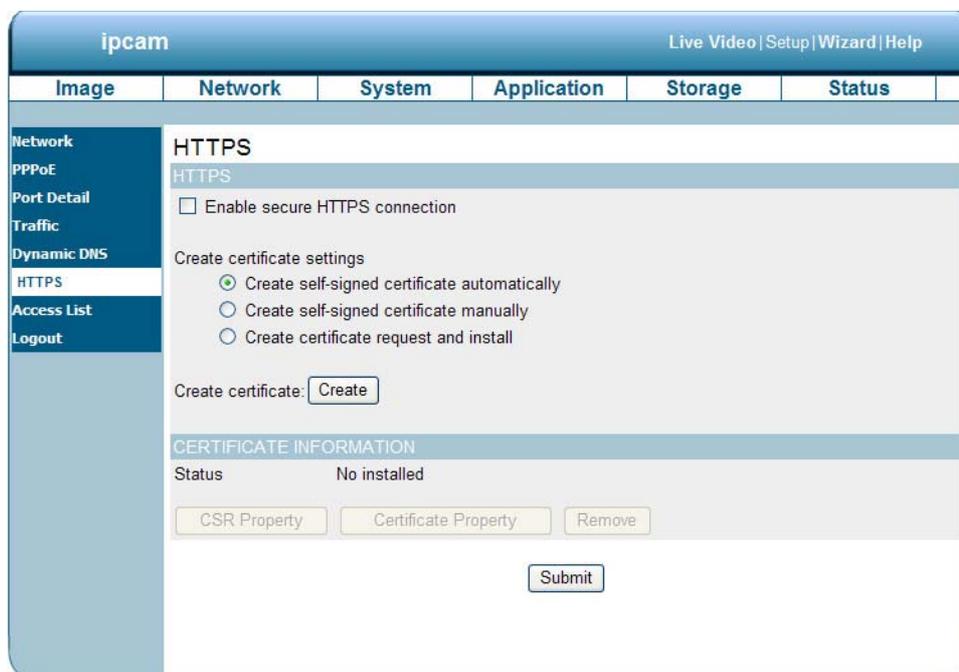
ファンクションキーの説明

| | |
|-----------------------|---|
| Enable DDNS Functions | チェックボックスにチェックを入れ、機能を有効にします。 |
| DNS | (Domain Name System) はドメイン名を IP アドレス (例 : 192.168.0.20) へ変換する為のインターネットサービスです。アドレスは ISP またはネットワークゲートウェイから取得出来ます。 |
| Server Address | プルダウンメニューから、ダイナミック DNS プロバイダを選択します。もしくは手動でサーバーアドレスを入力してください。 |
| Host Name | DDNS サーバのホスト名を入力します。 |
| User Name | DDNS への接続に使用されるユーザー名または E メールを入力します。 |
| Password | DDNS への接続に使用されるパスワードを入力します。 |
| Verify Password | DDNS への接続に使用されるパスワードをもう一度入力します。 |
| Timeout | IP アドレス登録の DNS タイムアウト値を入力します。 |
| Status | システムによって自動的に決定された接続ステータスを示します。 |

ネットワーク設定の変更 - HTTPS

Network ページの左上に「HTTPS」アイコンがあります。
以下の手順に従い、HTTPS 設定の変更を行います。

- (1) 左上の「HTTPS」ボタンをクリックし、HTTPS 設定ページへ入ります。



- (2) 「Enable HTTPS secure connection」チェックボックスにチェックを入れ、機能を有効にします。
- (3) 「Create certificate settings」で、「Create self-signed certificate automatically」、「Create self-signed certificate manually」、「Create certificate request and install」のいずれかを選択します。
- (4) < Create > をクリックし、証明書設定の作成を保存します。
- (5) 証明書情報は下に表示されます。
- (6) 証明書署名リクエスト情報を見るためには「CSR Property」をクリックします。
- (7) 証明書情報を見るためには「Certificate Property」をクリックします。
- (8) 作成された証明書を削除するには「Remove」をクリックします。
- (9) 新しい設定を適用するために、< Submit > ボタンをクリックします。

[注意] HTTPS が有効な間は、証明書は削除が出来ません。
証明書を削除する為には、最初に「Enable HTTPS secure connection」のチェックを外してください。

証明書の作成・インストール方法

自己署名証明書を自動で作成

IP カメラとの接続に HTTPS を使用する前に、自己署名証明書を自動で作成します。

- (1) HTTPS セキュア接続を有効にします。
- (2) 「Create self-signed certificate automatically」 オプションを選択します。
- (3) 「Create」 ボタンをクリックします。
- (4) 新しい証明書情報が HTTPS 設定ページの 3 番目のコラムに表示されます。
- (5) メインページへ戻ります。アドレスバー内を "http://" から "https://" に書き換え、Enter キーを押してください。
セキュリティアラートダイアログがポップアップされますので、「はい」をクリックし HTTPS を有効にしてください。

自己署名証明書を手動で作成

- (1) HTTPS セキュア接続を有効にします。
- (2) 「Create self-signed certificate manually」 を選択し、「Create certificate」 コラムを開きます。
- (3) < Create > ボタンをクリックします。
- (4) 新しい証明書情報が HTTPS 設定ページの 3 番目のコラムに表示されます。

証明書リクエストの作成とインストール

- (1) HTTPS セキュア接続を有効にします。
- (2) 「Create self-signed certificate automatically」 を選択し、「Create certificate」 コラムを開きます。
- (3) 「Create」 ボタンをクリックします。
- (4) 証明書リクエストを示すポップアップが表示されます。
- (5) デジタル証明書を発行する、信頼できる認証局を探してください。認証局が SSL 証明書を発行するのを待ち、発行された証明書を検索するために "参照 ..." をクリックします。その後「Create certificate File」 コラムの "Upload" をクリックします。
- (6) 新しい証明書情報が HTTPS 設定ページの 3 番目のコラムに表示されます。

ネットワーク設定の変更 - Access List

Network ページの左上に「Access List」アイコンがあります。

以下の手順に従い、アクセスリスト設定の変更を行います。

- (1) 左上の「Access List」ボタンをクリックし、アクセスリストページへ入ります。

- (2) 「Allow List」の「Start IP address」、「End IP address」を埋め、< Add > ボタンをクリックします。削除するためには、「Delete allow list」からアドレス範囲を選択し、< Delete > ボタンをクリックします。
- (3) 「Deny List」の「Start IP address」、「End IP address」を埋め、< Add > ボタンをクリックします。削除するためには、「Delete deny list」からアドレス範囲を選択し、< Delete > ボタンをクリックします。
- (4) 新しい設定を適用するために、< Submit > ボタンをクリックします。

ファンクションキーの説明

| | |
|-------------------|---|
| Allow List : | |
| Start IP Address | カメラのビデオへアクセスする権限を持つ装置（コンピュータ等）の開始 IP アドレス |
| End IP Address | カメラのビデオへアクセスする権限を持つ装置（コンピュータ等）の終端 IP アドレス |
| Delete Allow List | 許可リストから登録された設定を削除します。 |
| Deny List : | |
| Start IP Address | カメラのビデオへアクセスする権限を持たない装置（コンピュータ等）の開始 IP アドレス |
| End IP Address | カメラのビデオへアクセスする権限を持たない装置（コンピュータ等）の終端 IP アドレス |
| Delete Deny List | 拒否リストからカスタマイズされた設定を削除します。 |

- [注意] 許可リストと拒否リストの範囲に矛盾がある場合、拒否リストの範囲内のアクセスリストは拒否リストの範囲内よりも高い優先度を持ちます。例えば、許可リストの範囲が 1.1.1.0 から 192.255.255.255 で、拒否リストの範囲が 1.1.1.0 から 170.255.255.255 に設定されている場合、171.0.0.0 から 192.255.255.255 の間に位置する IP を持つユーザだけが IP カメラへアクセス可能です。

システム設定の変更

以下の手順に従い、システム設定の変更を行います。

システム日時の設定

ホームページの「System」ボタンをクリックします。

以下の手順に従い、システム時刻の設定を行います。

- (1) 左上「Time and Date」ボタンをクリックし、Time And Date ページへ入ります。カメラには、自動的または手動で内部システム時計の設定 / 更新 / 保守を行うことが可能です。

The screenshot shows the 'ipcam' web interface with the 'System' tab selected. The 'TIME AND DATE' configuration page is displayed. The 'TIME CONFIGURATION' section includes a 'Time Zone' dropdown set to '(GMT+08:00) Taipei' and a 'Time Format' dropdown set to 'YYYY/MM/DD'. There are three radio button options: 'Enable Daylight Saving' (unchecked), 'Auto Daylight Saving' (checked), and 'Set date and time manually' (unchecked). Below these are 'Offset' dropdowns set to '+2:00' and 'Start time'/'End time' fields with dropdowns for Month, Week, Day of week, Hour, and Minutes, all set to 1, 1, Sunday, 0, and 00 respectively. The 'AUTOMATIC TIME CONFIGURATION' section has a checkbox for 'Synchronize with NTP Server' (unchecked) and an 'NTP Server' text field containing 'pool.ntp.org'. The 'SET DATE AND TIME MANUALLY' section has a checkbox for 'Set date and time manually' (unchecked) and a 'Copy Your Computer's Time Settings' button. Below this are dropdown menus for Year (2011), Month (1), Day (21), Hour (13), Minute (51), and Second (10). A 'Submit' button is located at the bottom of the form.

- (2) システム日時を設定するため、ドロップダウンメニューからタイムゾーンを選択します。サマータイムを有効にする場合、「Enable daylight saving」にチェックを入れ、「Auto Daylight Saving」または「Set date and time manually」を選択します。
- (3) 自動時刻設定を行うには、「Synchronize with NTP Server」にチェックを入れ、NTPサーバーのアドレスを入力します。
- (4) 手動時刻設定を行うには、「Set date and time manually」にチェックを入れ、PCの時刻情報に同期させるため「Copy Your Computer's Time Settings」をクリックするか、「Year」、「Month」、「Day」、「Hour」、「Minute」、「Second」をドロップダウンリストから選択します。
- (5) < Submit > をクリックし、新しい設定を適用します。

ファンクションキーの説明

| | |
|------------------------------------|---|
| Time Zone | ドロップダウンメニューからタイムゾーンを選択します。 |
| Enable Daylight Saving | サマータイムを有効にする際に選択します。 |
| Auto Daylight Saving | サマータイム環境を自動的に設定する際に選択します。 |
| Set date and time manually | サマータイム環境を手動で設定する際に選択します。 |
| Offset | サマータイム有効時、加減される時間の量を設定します。 |
| Synchronize with NTP server | NTP サーバーから自動的に時刻情報を取得します。 |
| NTP Server | Network Time Protocol (NTP) は装置をインターネットタイムサーバーに同期させます。 現在のロケーションに一番近い物を選択してください。 |
| Set the date and time manually | このオプションは、日時を手動で設定する際に使用します。 |
| Copy Your Computer's Time Settings | 接続している PC と時刻情報を同期させます。 |

システム設定の変更 - デジタル入力 / 出力

以下の手順に従い、デジタル入出力の設定を行います。

- (1) システムページの「DI and DO」ボタンをクリックし、DI and DO ページへ入ります。

The screenshot shows the 'ipcam' web interface. The top navigation bar includes 'Live Video | Setup | Wizard | Help'. Below it are tabs for 'Image', 'Network', 'System', 'Application', 'Storage', and 'Status'. The left sidebar menu is expanded to 'DI and DO'. The main content area is titled 'DI AND DO' and contains the following settings:

- DI AND DO
- Digital Input 1: The active state is ; the current state detected is Open
- Digital Output 1: The active state is
- LED
- LED On Off
- VIDEO OUTPUT
- VIDEO OUTPUT On Off

A 'Submit' button is located at the bottom center of the form.

- (2) ドロップダウンリストから Digital Input 1 の動作状態を選択します。
- (3) ドロップダウンリストから Digital Input 2 の動作状態を選択します。
- (4) ドロップダウンリストから Digital Output の動作状態を選択します。
- (5) 「Video Output」を "ON" または "OFF" に設定します。カメラが外部装置と接続する際、"ON" に設定してください。
- (6) < Submit > をクリックし、新しい設定を適用します。

システム設定の変更 - ICR

(1) システムページの「ICR」ボタンをクリックし、ICR ページへ入ります。

(2) 「IR-Cut Removable filter trigger condition」で、「Automatic」、「Day Mode」、「Night Mode」、「Schedule」からオプションを選択します。

(3) 「IR Light Control」で、「Off」、「On」、「Sync, with ICR」、「Schedule」から選択します。

(4) < Submit > をクリックし、新しい設定を適用します。

ファンクションキーの説明

| | |
|---------------|---|
| Automatic | Day/Night モードは自動で設定されます。通常は Day モードに設定され、暗い場所では Night モードに変わります。 |
| Day mode | Day モードでは IR カットフィルターを無効にします。 |
| Night mode | Night モードでは IR カットフィルターを有効にします。 |
| Schedule mode | スケジュールを使用し、Day/Night モードを設定します。開始時刻に Day モードに入り、終了時刻に Night モードへ戻ります。 |

システム設定の変更 - Users

カメラの管理者名とパスワードの追加および編集が出来ます。
以下の手順に従い、ユーザの変更 / 追加を行います。

- (1) システムページの「Users」ボタンをクリックし、ユーザページへ入ります。

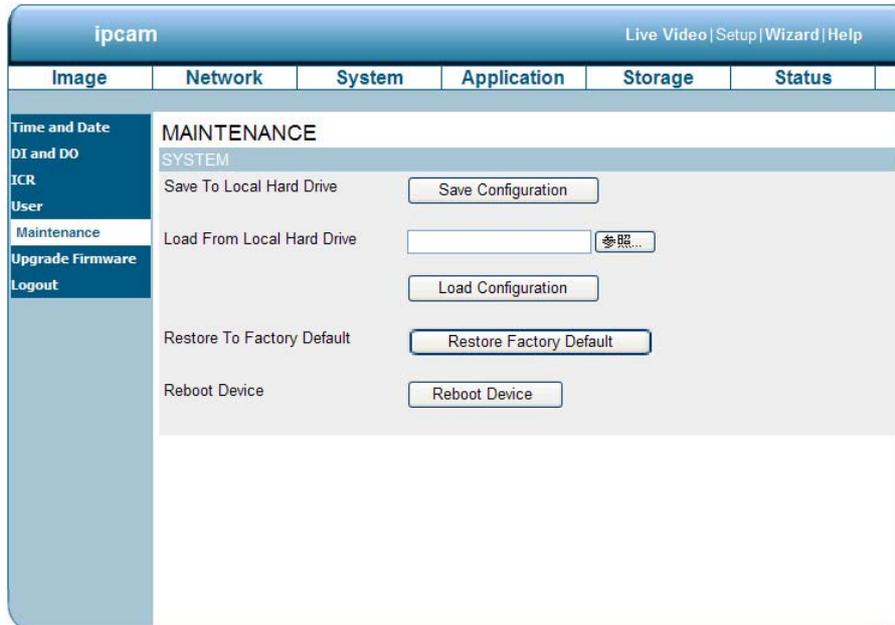
- (2) ユーザの追加、編集、削除を行います。
(3) < Submit > をクリックし、新しい設定を適用します。
(4) < Home > ボタンをクリックし、ホームページへ戻ります。

ファンクションキーの説明

| | |
|-------------|---------------------------------------|
| User List | 登録されているユーザと対応する権限のリストが表示されます。 |
| Delete User | 選択したユーザを削除します。 |
| Name | 追加または修正を行うユーザの名前を入力します。 |
| Password | 上のユーザ名の新しいパスワードを入力します。 |
| Confirm | 確認の為、パスワードを再度入力します。 |
| Authority | 権限オプションを選択します。(Admin、Operator、Viewer) |
| Submit | 新しい設定を IP カメラへ適用します。 |

システム設定の変更 - メンテナンス

システムページ左側の「Maintenance」ボタンをクリックし、Maintenance ページへ入ります。



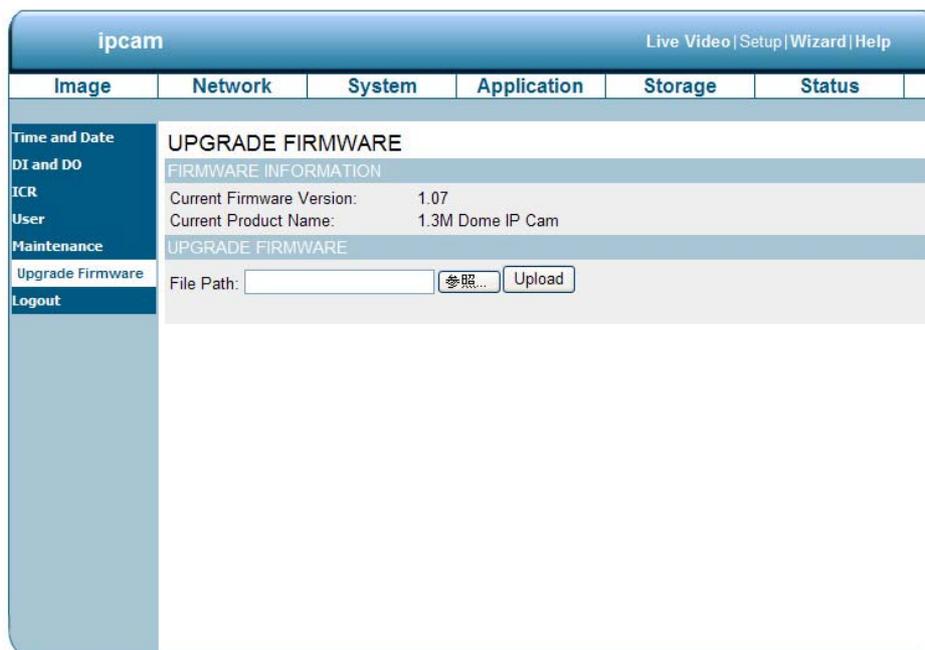
ファンクションキーの説明

| | |
|--------------------------|--|
| Save Configuration | ローカルハードドライブへ設定ファイルを保存します。 |
| Load Configuration | ローカルハードドライブから設定ファイルをロードします。 |
| Restore Factory Defaults | Restore Default ボタン IMAGE SETTINGS に設定した項目を初期値に戻します。 |
| Reboot Device | 装置の再起動を行います。 |

システム設定の変更 - ファームウェアアップデート

以下の手順でファームウェアアップデートを行います。

- (1) システムページの「Upgrade Firmware」ボタンをクリックし、ファームウェアアップグレードページへ入ります。



- (2) 「参照...」ボタンをクリックし、PC上にコピーされているUPDATE.BINファイルを選択します。
- (3) 「Upload」ボタンをクリックします。
- (4) アップデートプロセス実行中、ネットワークカメラの電源をOFFにしないでください。

[注意1] ユニットがアップデートを行っている最中に、電源を切らないでください。

[注意2] ユニットがアップデートを行っている最中に、プロセスを中断しないでください。

[注意3] UPDATE.BINファイルがユニットのモデルに合っていることを確認してください。間違ったUPDATE.BINファイルで更新を行った場合、装置に物理的な損害が起こることがあります。

[注意4] ファームウェア更新を行った後、インターネット一時ファイルを削除することを推奨します。

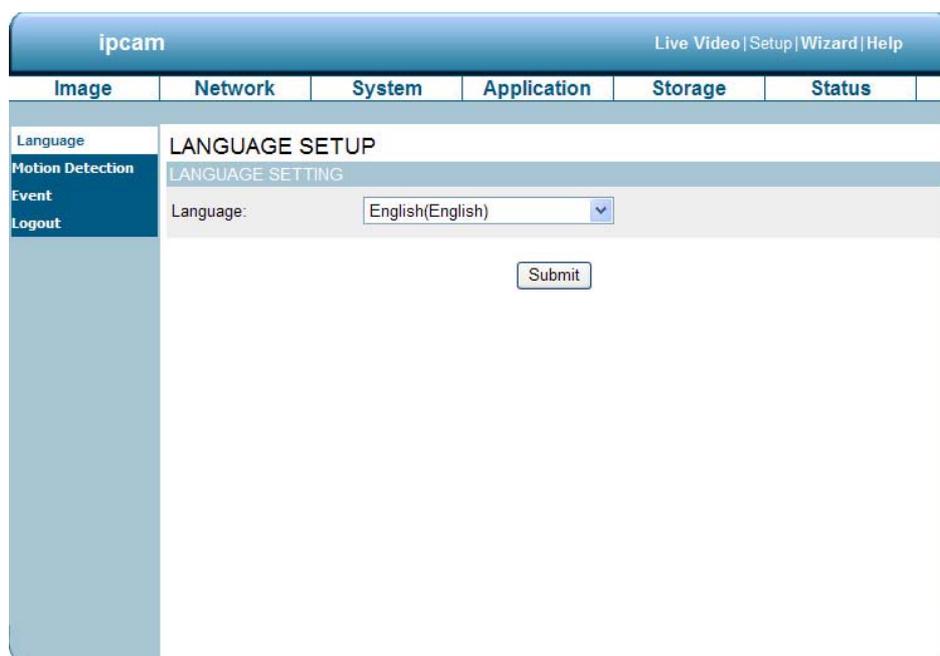
アプリケーション設定の変更

以下の手順に従い、アプリケーション設定の変更を行います。

アプリケーション設定 - 言語設定

以下の手順に従い、言語設定の変更を行います。

- (1) アプリケーションページの「Language」ボタンをクリックし、言語設定 ページへ入ります。



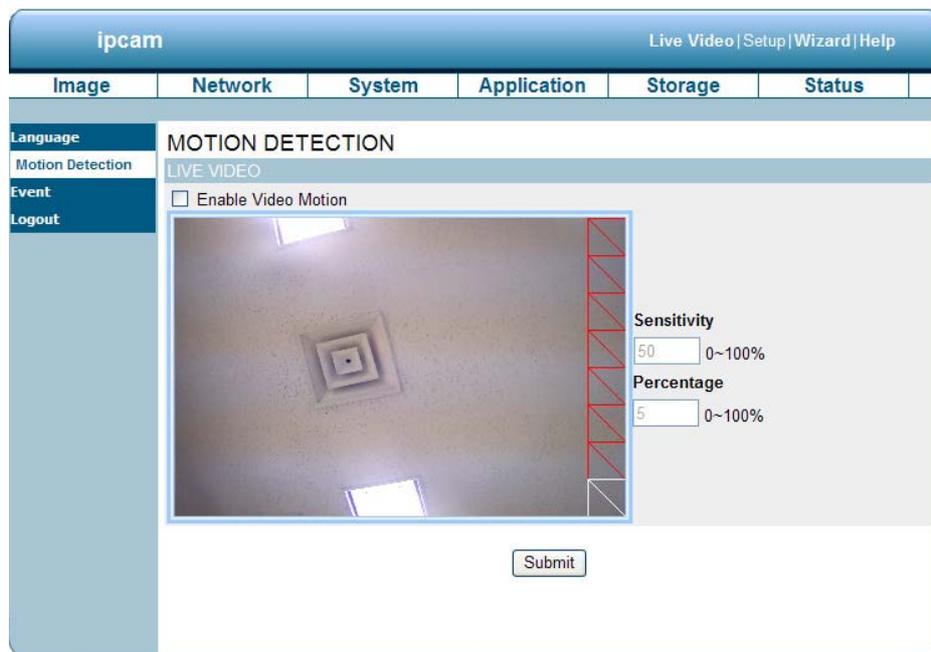
The screenshot shows the web interface of an IP camera. At the top, there is a navigation bar with the text 'ipcam' on the left and 'Live Video | Setup | Wizard | Help' on the right. Below this is a menu with tabs for 'Image', 'Network', 'System', 'Application', 'Storage', and 'Status'. The 'Application' tab is selected. On the left side, there is a vertical menu with options: 'Language', 'Motion Detection', 'Event', and 'Logout'. The 'Language' option is selected. The main content area is titled 'LANGUAGE SETUP' and 'LANGUAGE SETTING'. It contains a 'Language:' label followed by a dropdown menu currently set to 'English(English)'. Below the dropdown is a 'Submit' button.

- (2) 言語を選択できます。初期設定は「English」です。
適切な言語をクリックし、< Submit >で新しい設定を適用します。

アプリケーション設定 - モーションディテクション

以下の手順に従い、モーションディテクション設定の変更を行います。

- (1) アプリケーションページの「Motion Detection」ボタンをクリックし、モーションディテクションページへ入ります。



- (2) イメージの上に赤い長方形を描く為、目標とするゾーンをマウスでドラッグします。

[メモ] 1つ以上のターゲットゾーンを設定することが可能です。

- (3) 「Enable Video Motion」チェックボックスをクリックし、モーションディテクションを有効または無効にします。
- (4) 信号レベルを設定します。
- (5) < Submit > をクリックし、新しい設定を適用します。
- (6) < Home > ボタンをクリックし、ホームページへ戻ります。

ファンクションキーの説明

| | |
|-------------|--|
| Sensitivity | 動体検知を引き起こすために、どれだけの動作が要求されるかを設定します。 |
| Percentage | 変化比率。画面内でモニタされる動体の比率。この比率に達すると動体検知アラームを発生させます。 例：50% に設定した場合、選択されたウィンドウの半分に動体が検知された場合に動体検知を引き起こします。 |

アプリケーション設定 - イベント

このページでは、IP カメラの記録設定を構成および予定を組むことができます。「Add」をクリックし、サーバー・メディア・イベント・レコーディングの設定ページへ入り、詳細な設定を行います。「Delete」をクリックすることで設定を消去します。

The screenshot shows the 'EVENT SETUP' page in the 'ipcam' web interface. The page has a navigation bar with 'Live Video | Setup | Wizard | Help' and tabs for 'Image', 'Network', 'System', 'Application', 'Storage', and 'Status'. The left sidebar contains 'Language', 'Motion Detection', 'Event', and 'Logout'. The main content area is titled 'EVENT SETUP' and contains four sections:

- SERVER**: A table with columns 'Name', 'Type', and 'Address/Location'. It has 'Add', 'Delete', and a dropdown arrow button.
- MEDIA**: A table with columns 'Name' and 'Type'. It has 'Add', 'Delete', and a dropdown arrow button.
- EVENT**: A table with columns 'Name', 'Status', 'Sun', 'Mon', 'Tue', 'Wed', 'Thu', 'Fri', 'Sat', 'Time', and 'Trigger'. It has 'Add', 'Delete', and a dropdown arrow button.
- RECORDING**: A table with columns 'Name', 'Status', 'Sun', 'Mon', 'Tue', 'Wed', 'Thu', 'Fri', 'Sat', 'Time', 'Source', and 'Destination'. It has 'Add', 'Delete', and a dropdown arrow button.

イベント設定ページは、サーバー、メディア、イベント、レコーディングの4つの異なるセクションを含みます。

- (1) 新しいアイテム追加 - Event、Server または Media のいずれかで「Add」をクリックします。
- (2) イベントのプルダウンメニューから選択したアイテムを削除するために「Delete」をクリックします。
- (3) 修正のウィンドウへ入る為にアイテム名をクリックします。

[メモ] 最大5つのサーバ、5つのメディアフィールド、3つのイベントスケジュール、2つのレコーディングスケジュールを設定することが可能です。

サーバー

「Server」設定ページへはいるため、Server コラム内の「Add」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'SERVER' configuration page in the 'ipcam' interface. The page has a navigation bar with 'Live Video | Setup | Wizard | Help' and tabs for 'Image', 'Network', 'System', 'Application', 'Storage', and 'Status'. On the left, there is a sidebar with 'Language', 'Motion Detection', 'Event', and 'Logout'. The main content area is titled 'SERVER' and 'SERVER TYPE'. It offers four radio button options: 'Email', 'FTP', 'Network storage', and 'SD Card'. The 'Email' option is selected and includes fields for 'Sender email address', 'Recipient email address', 'Server address', 'User name', 'Password', and 'Port' (set to 25). The 'FTP' option includes fields for 'Server address', 'Port' (set to 21), 'User name', 'Password', and 'Remote folder name', with a 'Passive mode' checkbox. The 'Network storage' option includes fields for 'Network storage location' (with an example), 'Workgroup', 'User name', 'Password', and 'Primary WINS server'. The 'SD Card' option is currently empty. At the bottom, there are three buttons: 'Test', 'Submit', and 'Don't Submit'.

- (1) サーバ名を入力します。「email サーバー」、「FTP サーバー」、「HTTP サーバー」、「ネットワークストレージ」の4種類のサーバーがサポートされています。
- (2) Eメールの詳細を設定します。「Sender email address」、「Recipient email address」を入力します。
- (3) FTPの詳細を設定します。「Remote folder name」で外部FTPサーバの公認フォルダを設定します。文字列は外部FTPサーバーに従います。FTPサーバーの一部は、パーチャルパスマッピング無しで、パスの前のスラッシュシンボルを受け入れることができません。詳細については外部FTPサーバのためのインストラクションを参照してください。トランスミッションでパッシブモードを有効にするためには「Passive Mode」にチェックを入れてください。
- (4) Network Storageの詳細を設定します。1つのネットワークストレージがサポートされています。「Network storage location」でメディアをアップロードするパスを指定します。「Workgroup」でネットワークストレージのワークグループを指定します。
- (5) 「SD Card」をクリックし、SDカード機能をアクティブにします。
- (6) 設定を保存するためには < Submit > をクリックします。イベントメインページに戻るには < Don't Submit > をクリックします。

Server 設定

- (1) 「Event Settings」ページで、Server コラムの下の < Add > をクリックし、サーバー設定ページを開きます。このページでトリガが始動する際、通知がどこで送信されるかを指定します。合計 5 サーバーを設定することができます。

[メモ] 設定できる最大サーバー数の合計は 5 サーバーですが、ネットワークストレージまたは SD カードは 1 つのみ設定が可能です。

- (2) サーバー設定のためのサーバー名を入力します。

- (3) サーバタイプを選択します。

Email : トリガ発生時、E メールサーバーへメディアファイルを送信します。

- a. Sender email address : 送り主の電子メールアドレスを入力。
- b. Recipient email address : 受取人の電子メールアドレスを入力。
- c. Server address : 電子メールサーバーのドメインまたは IP アドレスを入力。
- d. User name : 必要な場合、電子メールアカウントのユーザー名を入力。
- e. Password : 必要な場合、電子メールアカウントのパスワードを入力。
- f. Port : デフォルトでは電子メールサーバーポートは 25 です。
手動で他のポート番号を設定することも可能です。
- g. 設定が正確に行われているかを確認するために「Test」ボタンをクリックしてください。結果はこのページの上部に表示されます。(TEST OK または TEST ERROR)
- h. 設定を有効にするため < Submit > をクリックします。

FTP : トリガ発生時、FTP サーバーへメディアファイルを送信します。

- a. Server address : FTP サーバーのドメインまたは IP アドレスを入力。
- b. Port : デフォルトでは FTP サーバーポートは 21 です。
手動で他のポート番号を設定することも可能です。
- c. User name : FTP アカウントのログイン名を入力。
- d. Password : FTP アカウントのパスワードを入力。
- e. Remote Folder name : メディアファイルが置かれるフォルダを入力。フォルダが存在しない場合、IP カメラは FTP サーバー上に作成します。
- f. Passive mode : 多くのファイアウォールは外部要求から開始された新しい接続を受け入れません。FTP サーバーがパッシブモードをサポートする場合、このオプションでパッシブモード FTP を有効にすることでデータ転送がファイアウォールを通過することが可能になります。
- g. 設定が正確に行われているかを確認するために「Test」ボタンをクリックしてください。結果はこのページの上部に表示されます。(TEST OK または TEST ERROR)
- h. 設定を有効にするため < Submit > をクリックします。

ネットワークストレージ : トリガ発生時、ネットワークストレージロケーションへメディアファイルを送信します。

- a. Network storage location : ネットワークストレージパスを入力。(// サーバー名または IP アドレス / フォルダ名)
- b. Workgroup : ネットワークストレージサーバーのワークグループ名を入力。
- c. User name : サーバーのユーザー名を入力。
- d. Password : サーバーのパスワードを入力。
- e. 設定が正確に行われているかを確認するために「Test」ボタンをクリックしてください。結果はこのページの上部に表示されます。(TEST OK または TEST ERROR)
- f. 設定を有効にするため < Submit > をクリックします。

SD カード : トリガ発生時、SD カードへメディアファイルを送信します。

- a. まず SD カードを挿入します。
 - b. 設定が正確に行われているかを確認するために「Test」ボタンをクリックしてください。結果はこのページの上部に表示されます。(TEST OK または TEST ERROR)
 - c. 設定を有効にするため < Submit > をクリックします。
- (4) 完了後、設定を適用するために < Submit > をクリックします。新しいサーバー設定はイベント設定ページに表示されます。
- (5) リストからサーバー設定を削除する場合、ドロップダウンリストからサーバー名を選択し、< Delete > をクリックします。

Media

「Media」設定ページへはいるため、Media コラムの「Add」ボタンをクリックします。

- (1) メディア名を入力します。メディアには「snapshot」、「video clip」、「system log」の3つの種類があります。
- (2) スナップショットの詳細を設定します。
 - Source：ビデオソースを選択。
 - Send Pre-event images：イベント以前の画像の数。
 - Send Post-event images：イベント以後の画像の数。
 - File name prefix：ファイル名に追加される接頭部名。
 - Add date and time suffix to file name：チェックを入れると、日付と時刻をファイル名接尾部に追加します。
- (3) ビデオクリップの詳細を設定します。
 - Source：ビデオソースの選択。
 - Pre-event recording：イベント録画の間隔。
 - ファイルの最大録画維持時間。
 - Maximum file size：生成される最大ファイルサイズ
- (4) 「System log」をクリックし、カメラでシステムログを表示させます。
- (5) 完了後、設定を適用するために < Submit > をクリックします。イベントメインページへ戻るには < Don't Submit > をクリックします。

Media 設定

- (1) メディア設定ページへはいるため、Media コラムの「Add」ボタンをクリックします。このページでは、トリガが始動した時に送られるメディアのタイプを指定できます。合計5メディアを設定出来ます。

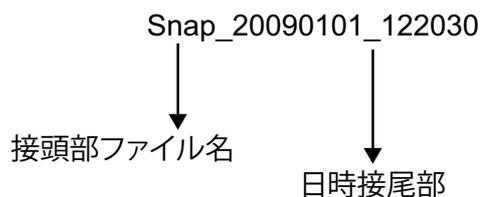
- (2) メディア設定用のメディア名を入力します。
- (3) メディアタイプを選択します。「Snapshot」、「Video Clip」、「System log」の3つのタイプから選択出来ます。

スナップショット：トリガ始動時、スナップショットの送信を選択。

- a. Source：ビデオプロフィールからスナップショットを撮影。
- b. Send pre-event image：IP カメラはバッファエリアを持ち、ある時間までデータを一時的に保ちます。トリガが始動する前に、いくつかのイメージがキャプチャされるかを指定します。最大4イメージの生成が可能です。
- c. Send post-event image：トリガが始動した後、いくつかのイメージがキャプチャされるかを指定します。最大7イメージの生成が可能です。

[メモ] 例：Send pre-event images と Send post-event images の両方が4に設定されている場合、トリガの始動後合計8イメージが生成されます。

- d. File Name Prefix：ファイル目のフロントに付加されるテキストを入力。



フォーマット：YYMMDD_HHMMSS

- e. Add date and time suffix to file name：ファイル名に日付 / 時刻を接尾部に加えるオプションを選択。
- f. 設定を適用するため、< Submit >をクリックします。

ビデオクリップ：トリガが始動した時にビデオクリップの送信を選択します。

- a. Source：ビデオプロフィールからビデオクリップのレコードを選択。
- b. Pre-event recording：IP カメラはバッファエリアを持、ある時間までデータを一時的に保ちます。トリガが始動する前の録画間隔を設定します。最大4秒が設定可能です。
- c. Maximum duration：最大レコーディング時間を指定します。最長100秒に設定出来ます。

[注意] 例：「Pre-event recording」が4秒、「Maximum duration」が10秒に設定されている場合、IP カメラはトリガが始動した後さらに5秒間レコーディングを続けます。



- a. Maximum file size : 最大ファイルサイズを指定。
- b. File Name Prefix : ファイル目のフロントに付加されるテキストを入力。
- c. < Submit > をクリックし、設定を有効にします。

システムログ : トリガが始動する時に、システムログの送信を選択します。

- (4) 完了後、設定を適用するために < Submit > をクリックします。新しいサーバー設定はイベント設定ページに表示されます。
- (5) リストからサーバー設定を削除する場合、ドロップダウンリストからサーバー名を選択し、< Delete > をクリックします。

Event

イベント設定ページへはいるため、Event コラムの「Add」ボタンをクリックします。

- (1) イベント名を入力します。「Enable this event」チェックボックスにチェックを入れ、機能を有効にします。「Priority」をドロップダウンリストから設定します。「Priority」: より高いプライオリティを持つイベントが最初に実行されます。
- (2) どのような動作を条件にイベントを始動するかを指定します。
Video motion detection : モニタを行う必要のある画面を選択。
Periodic : 指定した間隔でイベントが撮影されます。トリガの間隔は分単位です。
Digital input : カメラへの外部トリガ入力。
System boot : システムブートアップ時、イベントがトリガします。
- (3) レコーディングスケジュール時間を設定します。
- (4) Trigger I/O を設定。イベント発生時にトリガがデジタル出力する時間を指定します。

- (5) 行動の活性化のトリガ I/O を設定。イベントが始動する時、指定した時間デジタル出力を引き起こします。
- (6) < Submit > をクリックし、設定を保存します。イベントメインページへ戻るには < Don't Submit > をクリックします。

Event 設定

- (1) イベント設定ページ内、Event コラムの下の < Add > をクリックし、Event ページを開きます。「Trigger」、「Event Schedule」、「Action」の3つのパートを設定することが出来ます。
- (2) イベントセッティング用のイベント名を入力します。
- (3) 「Enable this event」オプションを選択し、イベント設定を有効にします。
- (4) 「Priority」を「normal」、「high」、「highest」から選択します。高いプライオリティを持つイベントが最初に実行されます。
- (5) モーションが検出された後、動体検出を中断するための持続時間を入力します。(トリガタイプ - 動体検出およびデジタルインプット)
- (6) イベントがユーザー定義トリガソースによって開始されるアクション ; Trigger、Event Schedule、Action

Trigger : このオプションはいつ IP カメラにトリガを起こすかを定義します。トリガソースは IP カメラの組み込み動体検出メカニズムを使用し設定されるか、定期的、外部デジタル入力装置またはシステムブートで設定されます。トリガソースには下にあるようにいくつかの選択があります。

- a. Video motion detection : イベントに対するトリガの入力タイプ。ライブ映像モニタ中は動体検知されます。モニタする必要がある画面を選択します。あらかじめ Motion Detection (P32) の設定を行う必要があります。

[メモ] イベントステータスが ON になっている場合、動体検出によってイベントが始動後すぐに、IP カメラは自動的に設定されたサーバータイプ経由でスナップショット、ビデオクリップ、システムログを送信します。

- b. Periodic : このオプションは、IP カメラが定義された分数の間隔周期で始動するように設定します。(最大 99999 分)
- c. Digital input : このオプションは IP カメラが外部デジタル入力装置またはセンサーをトリガソースとして使用することを可能にします。アプリケーションに依存して、温度の変化、振動、サウンド、ライトを検出するためのデジタル入力装置マーケットには多くの選択があります。
- d. System boot : このオプションは IP カメラへの電源供給が切れた時に始動させます。

Event Schedule : イベントの間隔を指定します。

- a. 曜日を選択します。
- b. 24 時間形式でレコーディングスケジュールを設定します。

Action : トリガが始動する時、IP カメラによって行われる行動を定義します。

- a. Trigger D/O for ~ seconds : トリガが始動する時、外部デジタル出力装置をオンにするよう選択します。テキストボックスでトリガ間隔の長さを指定します。

- b. イベントが記録されたビデオまたはスナップショットと共に設定されることを希望する場合、IP カメラがトリガが始動した時にどのようなアクション（どのサーバーにメディアファイルを送るか等）を取るべきか知るように、最初にサーバーおよびメディア設定を行う必要があります。既に設定したサーバー名の1つにチェックを入れ、ドロップダウンリストから取り付けられたメディア（メディア名）を選択します。
- (7) 完了後、設定を適用するために < Submit > をクリックします。新しいサーバー設定はイベント設定ページに表示されます。
- (8) リストからサーバー設定を削除する場合、ドロップダウンリストからサーバー名を選択し、< Delete > をクリックします。

Recording

レコーディングページへはいるため、Recording コラムの「Add」ボタンをクリックします。

- (1) レコーディングエントリ名を入力します。「Enable this recording」チェックボックスにチェックを入れ、機能を有効にします。ネットワーク上で共有フォルダへ記録をアップロードすることを望む場合、このオプションを有効にしてください。
- (2) 記録スケジュール時間を設定します。カメラがビデオクリップを作成する日を選択します。
- (3) 記録されたファイルの詳細を設定します。
 Always : カメラが連続的にビデオクリップを作成することが出来るようにします。
 From : ビデオクリップのために時間範囲を指定します。
- (4) < Submit > をクリックし、設定を保存します。イベントメインページへ戻るには < Don't Submit > をクリックします。

Recording 設定

- (1) Event Settings ページで「Record」コラムの < Add > をクリックし、記録設定ページを開きます。このページでは、「recording source」「recording schedule」、「recording capacity」を設定します。合計 2 つの記録設定を行えます。
- (2) イベント設定用のレコーディングエントリ名を入力します。
- (3) 「Enable this recording」オプションを選択し、記録設定を有効にします。
- (4) 「priority」を「normal」、「high」、「highest」から選択します。高いプライオリティを持つエントリが先に実行されます。
- (5) ドロップダウンリストからレコーディングソースを選択します。
- (6) レコーディングスケジュールとレコーディング設定を指定します。

Recording Schedule

- (1) 曜日を選択します。
- (2) 24 時間形式で記録スケジュールを設定します。

Recording Settings

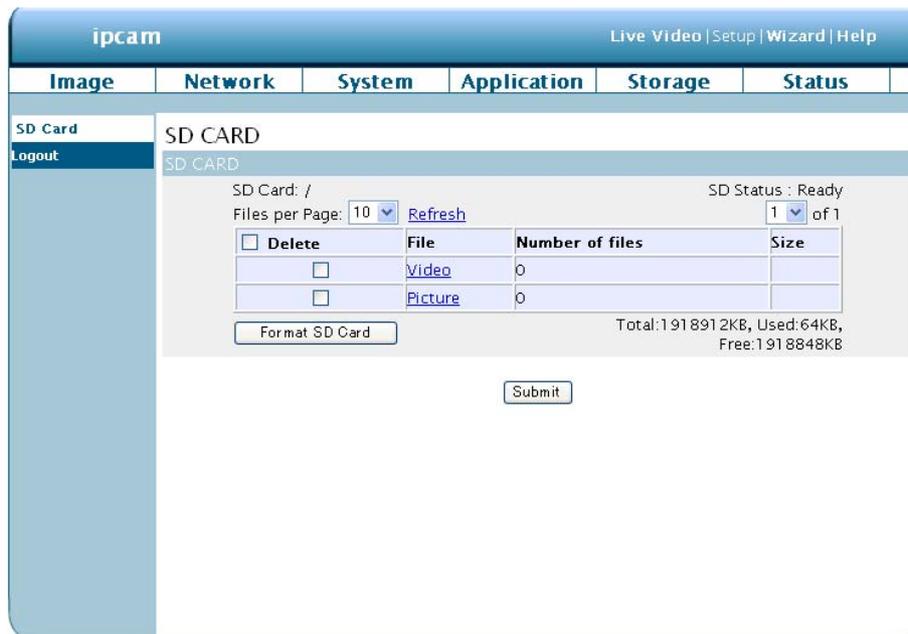
- (1) Destination : SD カードまたは SAMBA (ネットワークストレージ) を選択することができます。
- (2) Total cycling recording size : 録画のための容量を入力します。総録画サイズがこの値を越えると、録画データは古い物から上書きされます。空きスペースが充分でないと録画が停止します。充分な予備を持って設定してください。(範囲 : 1000 ~ 200000000 Kbytes)
- (3) Size of each file for recording : それぞれの記録ビデオファイルの最大ファイルサイズを設定します。
- (4) File Name Prefix : ファイル名のフロントに付加されるテキストを入力します。
- (7) 完了後、設定を適用するために < Submit > をクリックします。新しいサーバー設定はイベント設定ページに表示されます。

SD カード設定の変更

SD カードの設定を変更するには以下の手順に従ってください。

SD カード設定の変更

- (1) ホームページの「Storage」ボタンをクリックすることでSDカードページへ入れます。



- (2) SDカードページはVideoとPictureの2つのイメージモードを含みます。
- (3) VideoまたはPictureをクリックし、サブフォルダへ入ります。
- (4) その中の、イメージを表示したいファイルをクリックします。
- (5) それぞれのファイルはチェックを入れ「OK」ボタンをクリックすることで削除が出来ます。

装置情報

このページでは、装置とネットワーク接続の全ての情報を表示します。ステータスページの

| Image | Network | System | Application | Storage | Status |
|--------------------|--------------------------|--------|-------------|---------|--------|
| Device Info | | | | | |
| DEVICE INFO | | | | | |
| INFORMATION | | | | | |
| Model Name | 1.3M Dome IP Cam | | | | |
| Camera Name | ipcam | | | | |
| Time & Date | Fri Jan 21 14:07:27 2011 | | | | |
| Firmware Version | 1.07 | | | | |
| HTML Version | 2.0.68 | | | | |
| Activex Version | 2.0.0.19 | | | | |
| MAC Address | 00:17:2E:8A:22:07 | | | | |
| IP Address | 192.168.1.168 | | | | |
| IP Subnet Mask | 255.255.255.0 | | | | |
| Default Gateway | 0.0.0.0 | | | | |
| Primary DNS | 192.168.1.1 | | | | |
| PPPoE | Disable | | | | |
| DDNS | Disable | | | | |
| TV Output Mode | NTSC | | | | |

システムログの表示

このページではカメラのログ情報を表示します。

| Image | Network | System | Application | Storage | Status |
|---|---------|--------|-------------|---------|--------|
| Device Info | | | | | |
| SYSTEM LOG | | | | | |
| CURRENT LOG | | | | | |
| 1. 2011-01-21 13:34:01 admin FROM 192.168.1.51 TURN OFF AGC | | | | | |
| 2. 2011-01-21 13:31:20 admin FROM 192.168.1.51 TURN OFF AGC | | | | | |
| 3. 2011-01-21 13:30:12 admin FROM 192.168.1.51 TURN OFF AGC | | | | | |
| 4. 2011-01-21 13:30:07 admin FROM 192.168.1.51 TURN OFF AGC | | | | | |
| 5. 2011-01-21 13:30:05 admin FROM 192.168.1.51 TURN OFF AGC | | | | | |
| 6. 2011-01-21 13:29:37 admin FROM 192.168.1.51 TURN OFF AGC | | | | | |
| 7. 2011-01-21 13:29:11 admin FROM 192.168.1.51 TURN OFF AGC | | | | | |
| 8. 2011-01-21 13:29:03 admin FROM 192.168.1.51 TURN OFF AGC | | | | | |
| 9. 2011-01-21 13:29:01 admin FROM 192.168.1.51 TURN OFF AGC | | | | | |
| 10. 2011-01-21 13:28:59 admin FROM 192.168.1.51 TURN OFF AGC | | | | | |
| 11. 2011-01-21 13:27:54 admin FROM 192.168.1.51 TURN OFF AGC | | | | | |
| 12. 2011-01-21 13:25:53 admin LOGIN OK FROM 192.168.1.51 | | | | | |
| 13. 2011-01-21 13:22:53 admin LOGIN OK FROM 192.168.1.5 | | | | | |
| 14. 2011-01-21 13:15:19 SYSTEM BOOTING | | | | | |
| 15. 2011-01-21 13:14:37 RESET KEY PRESSED, **REBOOT** | | | | | |
| 16. 2011-01-21 13:06:23 SYSTEM BOOTING | | | | | |
| 17. 2011-01-21 13:04:36 SYSTEM BOOTING | | | | | |
| 18. 2011-01-21 13:03:54 RESET KEY PRESSED, **REBOOT** | | | | | |
| 19. 2011-01-21 13:02:37 SYSTEM BOOTING | | | | | |
| 20. 2011-01-21 12:55:11 SYSTEM BOOTING | | | | | |
| <input type="button" value="First Page"/> <input type="button" value="Previous 20"/> <input type="button" value="Next 20"/> | | | | | |
| <input type="button" value="Clear"/> <input type="button" value="Download"/> | | | | | |

- (1) Status ページの「Device info」ボタンをクリックし、Device Info 画面へ入ります。
- (2) 「Clear」をクリックすると、全てのログを削除します。「Download」をクリックすることで情報をダウンロードすることが出来ます。

3.2 PPPoE と DDNS

PPPoE の使用

- (1) PC に XDSL ソフトウェア (ISP デイラから入手) をインストールします。
- (2) IP カメラの IP アドレスを検索 - IP カメラとビデオモニタの接続を行います。
モニタスクリーンの右側に IP アドレスが表示されます。
- (3) PC に IP アドレスを設定します。IP カメラの DHCP 機能が有効になっている場合は無効にします。
 1. デスクトップ上のマイネットワークを右クリックし、プロパティを選択します。
 2. ローカル接続を右クリックし、プロパティを選択します。
全般タブを選択し、インターネットプロトコル (TCP/IP) を選択してプロパティをクリックします。
 3. IP アドレスを入力します。(例: 192.168.1.101) 最初の 3 つのパートは IP カメラと同一にします。最後のパートだけを 255 以下の任意の数字に設定してください。
 4. サブネットマスクを入力します。
 5. OK をクリックします。
 6. ウィンドウを閉じます。
- (4) IE ブラウザを起動します。URL の欄に IP カメラの IP アドレスを入力し、(ステップ (2) を参照) Enter キーを押します。
- (5) IP カメライメージが表示されます。

PPPoE 設定

- (1) IP カメラのホームページへ入り、ネットワークを選択します。
ユーザ名 "admin"、パスワード "admin" を入力し、OK をクリックします。
- (2) PPPoE を選択し、「PPPoE Mode:」で「ON」を選択します。
ISP から取得した「Account」を入力します。
ISP から取得した「Password」を入力します。
< Submit > をクリックし、電源ケーブルを抜きます。
- (3) 再度 IP カメラの電源を入れると、ISP ディーラから IP アドレスを取得します（ダイナミック IP アドレス）電源の抜き差しを行うたびに、新しい IP アドレスを取得します。

インターネット接続テスト

- (1) インターネット接続ができるように、PC を設定します。
- (2) デスクトップ上の IP ブラウザを起動し、URL 欄に IP カメラの IP アドレス（上記ステップ (3) にて取得したアドレス）を入力します。
IP カメライメージが表示されます。

DDNS 設定

- (1) IP カメラの IP アドレスをチェックします。（スキャン IP ソフトウェアまたはモニタ）IE ブラウザを開き、URL 欄に IP カメラのアドレスを入力します。
「ネットワーク」を選択し、ユーザ名 "admin"、パスワード "admin" を入力し、OK をクリックします。
- (2) 「DDNS」を選択します。「Enable DDNS Function」をクリックします。
DDNS ホスト名と DDNS アカウント、DDNS パスワードを入力します。
< Submit > をクリックします。
IE ブラウザを閉じます。
- (3) 再度 IE ブラウザを開きます。申し込んだ Web サイトのアドレスを入力します。（例：abc123.homeip.net）IP カメラのイメージを見ることが出来ます。

[注意] これらの手順は、ADSL ダイナミック IP 設定にのみ適用されます。
設定が固定である場合、PPPoE および DDNS の設定を行う必要はありません。

4. システムソフトウェアのアップデート

IP カメラのシステムソフトウェアのアップグレードが必要な場合、安全に行うため以下の手順に従ってください。

[注意] 以下の手順を実行する前に、SD カードが正常に機能していることと、システムファームウェアのファイルに問題が無いことを確認してください。

- (4) SD カードに「UPGRADE」という名前のディレクトリを作成してください。
- (5) 「UPGRADE」ディレクトリに UPDATE.BIN のファイルをコピーしてください。
- (6) IP カメラが起動中である場合、まず電源を OFF にしてください。
- (7) IP カメラに SD カードを挿入します。
- (8) RJ-45 ポートからイーサネットケーブルを抜き、IP カメラの電源を ON にします。
- (9) 5 秒 ~ 10 秒後、「UPDATE PROCESSING」というメッセージが青背景のスクリーン上に表示されます。表示されない場合は、手順(1)から(6)をチェックするか、テクニカルサポートへ問い合わせしてください。
- (10) アップグレードプロセス実行中は、「UPDATE OK RESET PLEASE」というメッセージがスクリーン上に表示されるまで IP カメラの電源を OFF にしないでください。
このプロセスには 15 秒から 30 秒を要します。
- (11) 「UPDATE OK RESET PLEASE」ではなく、「UPDATE NG RESET PLEASE」というメッセージが表示された場合、スクリーンに表示されているエラーメッセージを書き留め、テクニカルサポートへ連絡してください。
- (12) このアップグレードプロセスが完了後、IP カメラの電源を OFF にし SD カードを抜いてください。
- (13) 必要であれば、イーサネットケーブルを RJ-45 ポートへ再度接続します。
- (14) IP カメラの電源を ON にし、正常に動作することを確認してください。
- (15) システムソフトウェアのバージョンを確認してください。

[注意 1] 手順(1)から(2)は PC で完了させてください。

[注意 2] 手順(2)で、UPDATE.BIN ファイルが正しいことを確認してください。

[注意 3] 手順(7)実行時に、IP カメラの電源が突然落ちてしまった場合、まず SD カードを抜き、次にオペレーションをテストするため IP カメラを ON にしてください。IP カメラが正常に動作していたら、手順(4)に戻ってください。動作していない場合はテクニカルサポートへお問い合わせ下さい。

[注意 4] 手順(9)にて、SD カードを除去せず、IP カメラがオンラインにならない場合は IP カメラの再起動を行った後に、アップデートプロセスを再実行する必要があります。

[注意 5] IP カメラの物理的損傷を防ぐ為、手順(4)にて、SD カードが正しい位置に挿入されていることを確認してください。

[注意 6] もしステップ(7)にて「CSUM ERROR」が表示される場合、UPDATE.BIN ファイルに問題がある可能性があります。

[注意 7] ユニットがアップデートを実行中、プロセスを中断しないでください。

5. アドバンスドオペレーション

Question1

モニタやTVが無い状態で、デスクトップPCまたはラップトップコンピュータのInternet Explorerで、IPカメラのイメージを見るには？

モニタ無しでIPカメラのIPアドレスを確認する方法：

IPアドレスを確認するには、以下の方法があります。

Upnp : P52 「IPカメラUPnP」参照

IP function : P62 「ARP機能」参照

Question2

モーションディテクションを設定する方法とその精度は？

モーションディテクションの設定

- (1) ホームページの「Application」ボタンをクリックします。
- (2) ページの左側にある、「Motion detection」ボタンをクリックし、ALARM - MOTION DETECTION ページへ入ります。
- (3) イメージ上でマウスをドラッグし、ターゲットゾーンを指定します。
- (4) モーションディテクション機能を有効にします。
- (5) 「sensitivity level」を "Lowest"、"Low"、"Medium"、"High"、"Highest" から選択します。
- (6) < Submit > ボタンをクリックし、新しい設定を適用します。

Question3

イントラネット経由でサブホスト名を使用してIPカメラを接続するために、DynDNSを使用する方法は？

DDNS機能の設定

- (1) ホームページの「Network」ボタンをクリックします。
- (2) 左側のDDNSボタンをクリックし、「DDNS SETTING」ページへ入ります。
- (3) 「Enable DDNS Function」にチェックを入れ、機能を有効にします。
- (4) 「DDNS Type」をドロップダウンリストから選択します。前もってDDNSの登録を行っていない場合、「DDNS Type」のいずれかを選択し、< Apply > ボタンをクリックすると、その登録ホームページが開き、メンバーとしての登録が出来ます。
- (5) DDNSホスト名とDDNSアカウント、DDNSパスワードを入力します。
- (6) < Submit > ボタンをクリックし、新しい設定を適用します。

PPPoE機能の設定

- (1) ホームページの「Network」ボタンをクリックします。
- (2) 左側の「PPPoE」ボタンをクリックし、「PPPoE SETTING」へ入ります。

- (3) 「PPPoE mode」から「ON」を選択し、機能を有効にします。
- (4) ISP から提供されているアカウントとパスワードを入力します。
- (5) < Submit > ボタンをクリックし、新しい設定を適用します。

[メモ] 詳細は P46 「PPPoE と DDNS」を参照してください。

サブホスト名を使用して IP カメラビューを表示

- (6) PC スクリーン上部の URL ブロックをクリックします。
- (7) IP カメラの DDNS ホスト名を入力し、< Enter > ボタンを押します。
- (8) ログインページが表示されるので、ユーザ名とパスワードを入力します。
- (9) < OK > ボタンをクリックし、IP カメラのホームページへ入ります。

Question4

ユーザおよび権限の追加または編集方法

設定ページを開く

- (1) ホームページ上の「System」ボタンをクリックします。
- (2) 左側の「Users」ボタンをクリックし、「SYSTEM - USERS」ページへ入ります。

新しいユーザの追加

- (1) ユーザ名とパスワードと、確認のためもう一度パスワードを入力します。
- (2) < Submit > ボタンをクリックし、新しいユーザ設定を適用します。

ユーザの削除

- (1) 「User List」から、削除したいユーザ名をクリックします。
- (2) 「Delete」ボタンをクリックします。

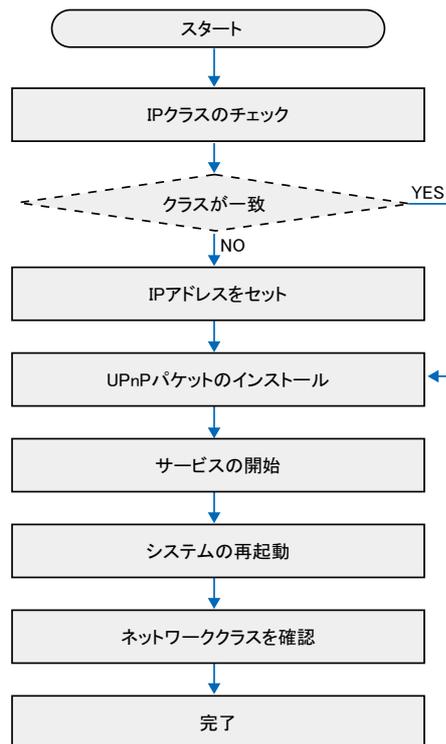
(白紙)

付録 A. IP カメラ UPnP

IP カメラの設定時、最も問題となるのは、装置の IP アドレスが不明になることです。

IP カメラは、それを調べることを容易にする、UPnP (Universal Plug and Play) プロトコルをサポートしています。

以下は UPnP 設定のフローチャートになります。

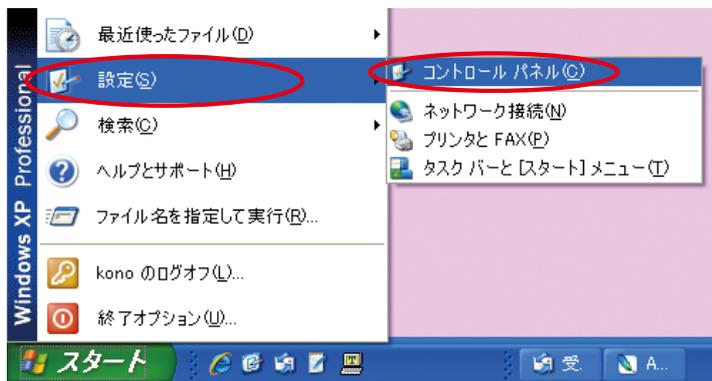


PC の IP クラスをチェック

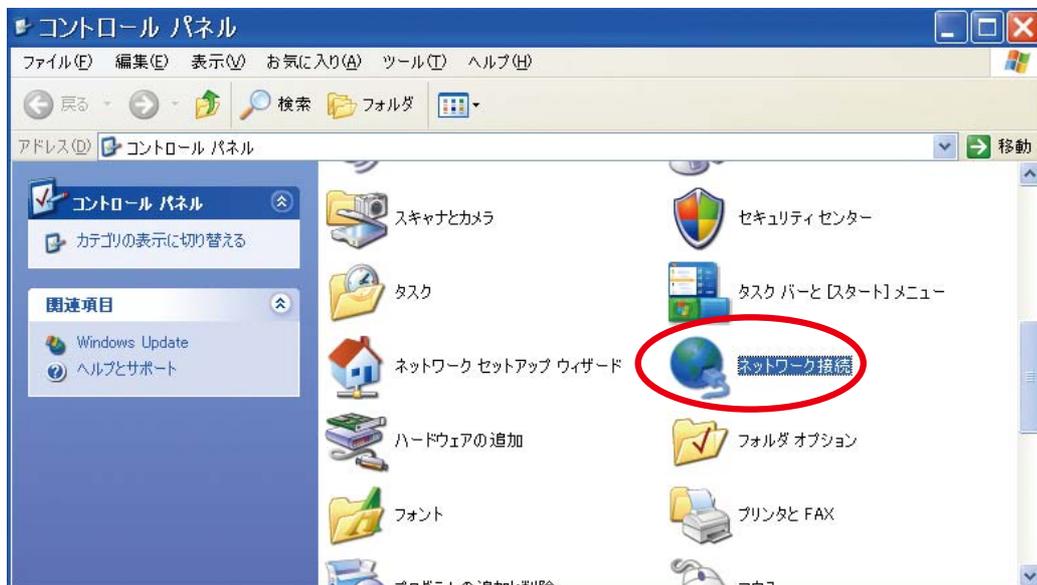
Microsoft Windows XP 使用時、DHCP サーバーが無い場合のほとんどのケースで、IP アドレスは "169.254.*.*" がサブネットマスク "255.255.0.0" と共に自動的に割り当てられます。IP カメラのデフォルト IP アドレスは "192.168.1.168"、サブネットマスクは "255.255.255.0" です。

異なる IP クラスドメインに帰せられるコミュニケーションは不可となるので、相対的に設定の修正を行う必要があります。

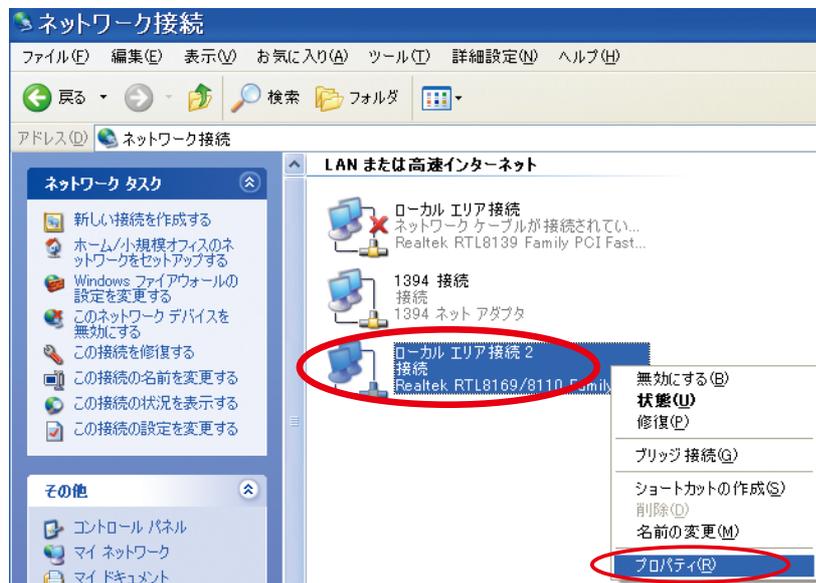
- (1) スタートメニュー / 設定 / コントロールパネルを指定します。



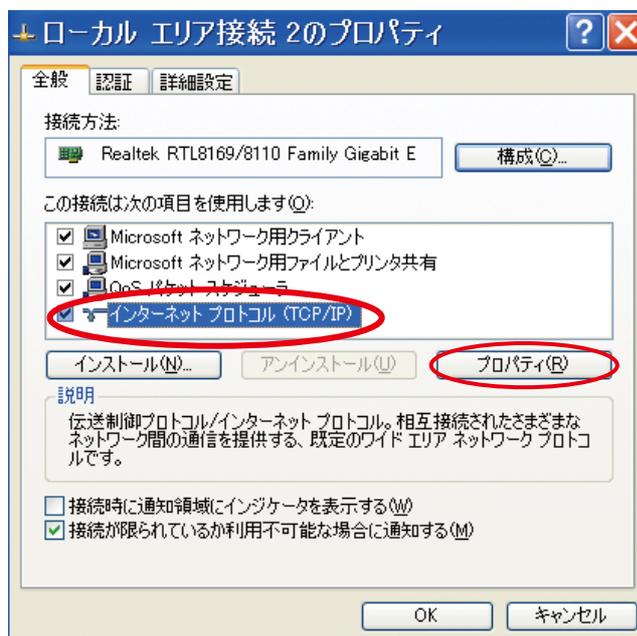
- (2) ネットワーク接続をダブルクリックします。



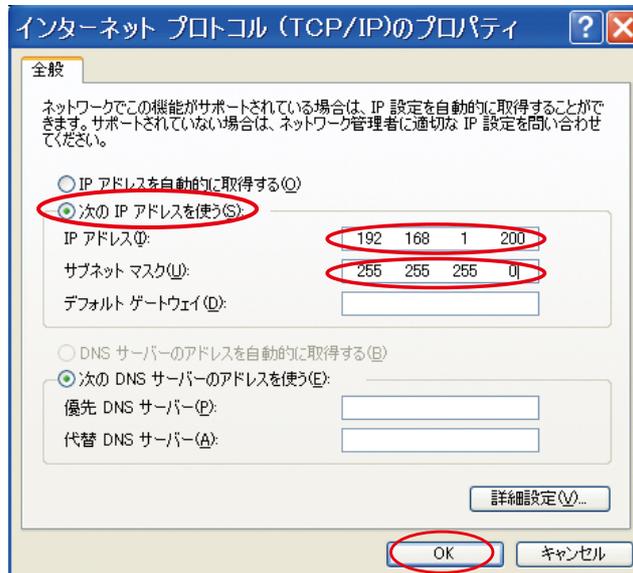
(3) ローカルエリア接続を右クリックし、「プロパティ」を選択します。



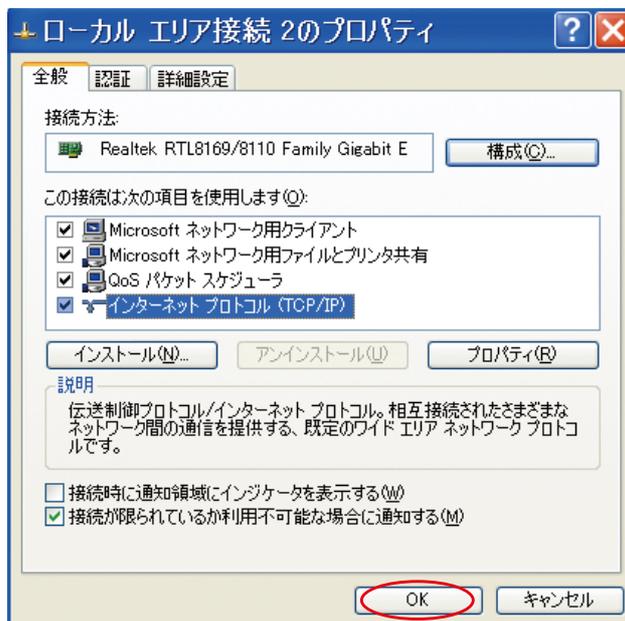
(4) ローカルエリア接続のプロパティ画面で、インターネットプロトコル (TCP/IP) を選択し、プロパティをクリックします。



- (5) 「次の IP アドレスを使う」にチェックを入れ、IP アドレス 192.168.1.200、サブネットマスク 255.255.255.0 を入力します。OK をクリックして完了です。



- (6) 「OK」をクリックし、ウィンドウを閉じます。



UPnP パケットのインストール

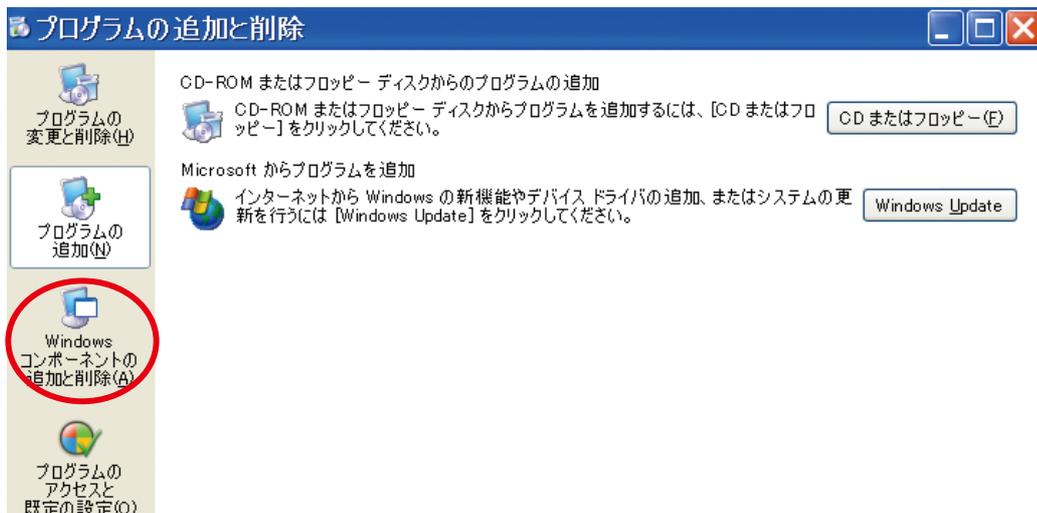
前に記述されたように、マイクロソフト Windows XP がデフォルトで UPnP サービスをサポートしていないため、それを初期化する前にパケットのインストールを行わなくてはなりません。

以下の手順に従いインストールを行ってください。

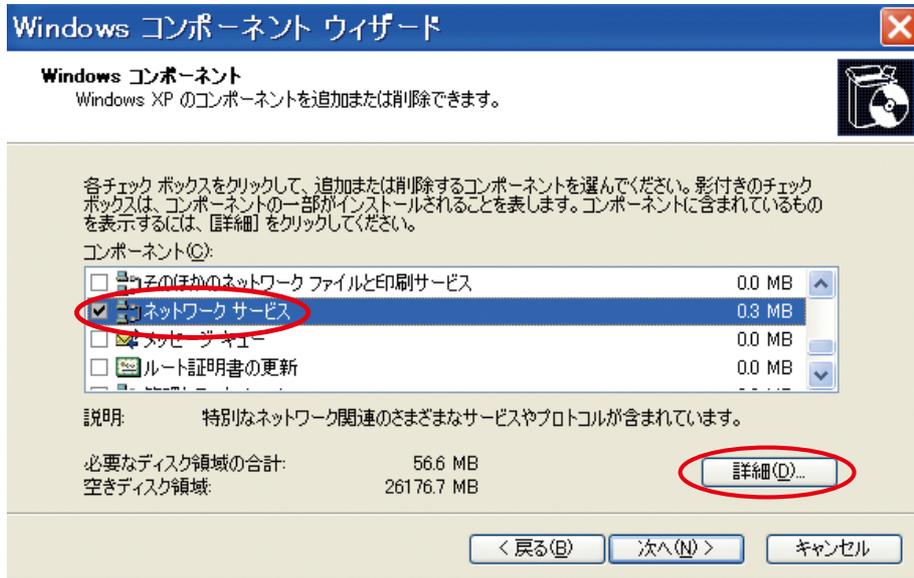
- (1) スタートメニューから、「プログラムのアクセスと既定の設定」をクリックします。



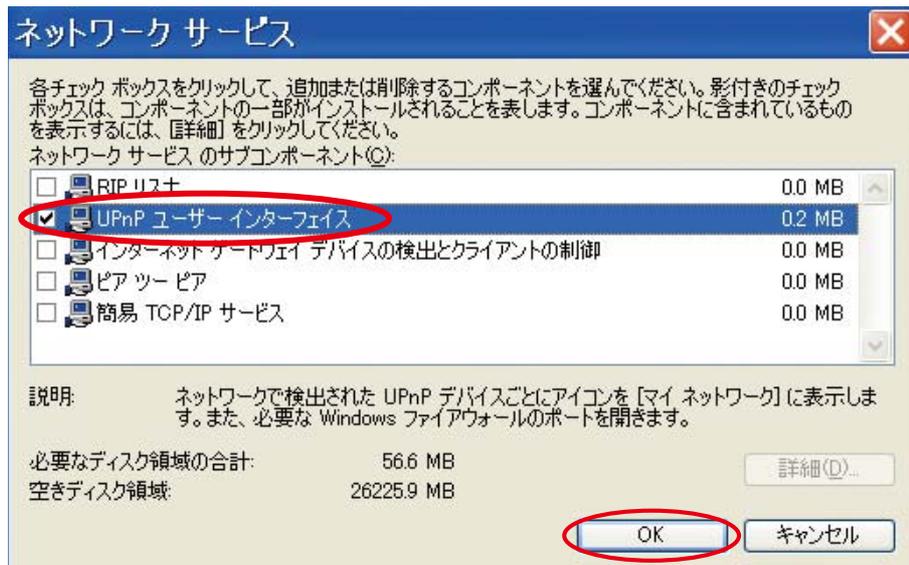
- (2) 「Windows コンポーネントの追加と削除」ボタンをクリックします。



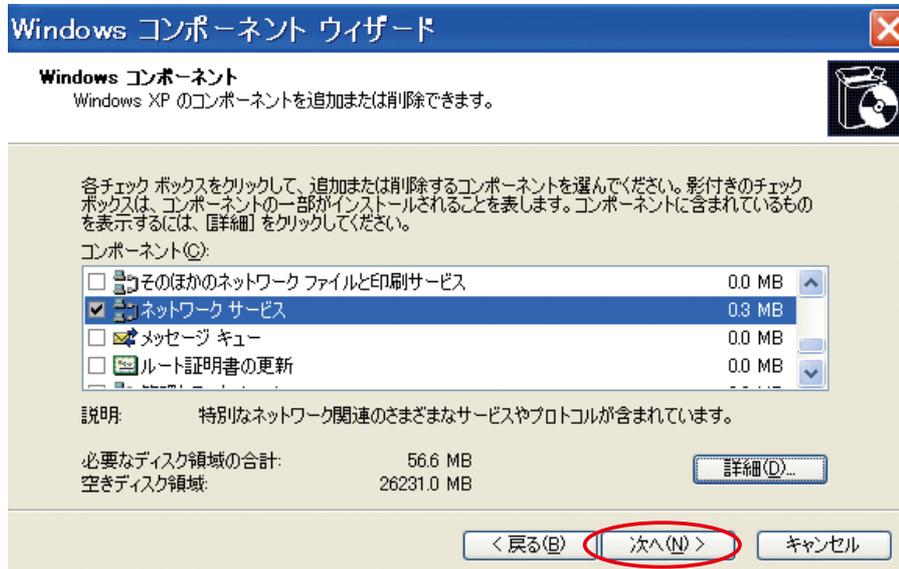
(3) 「ネットワークサービス」を選択、「詳細」をクリックします。



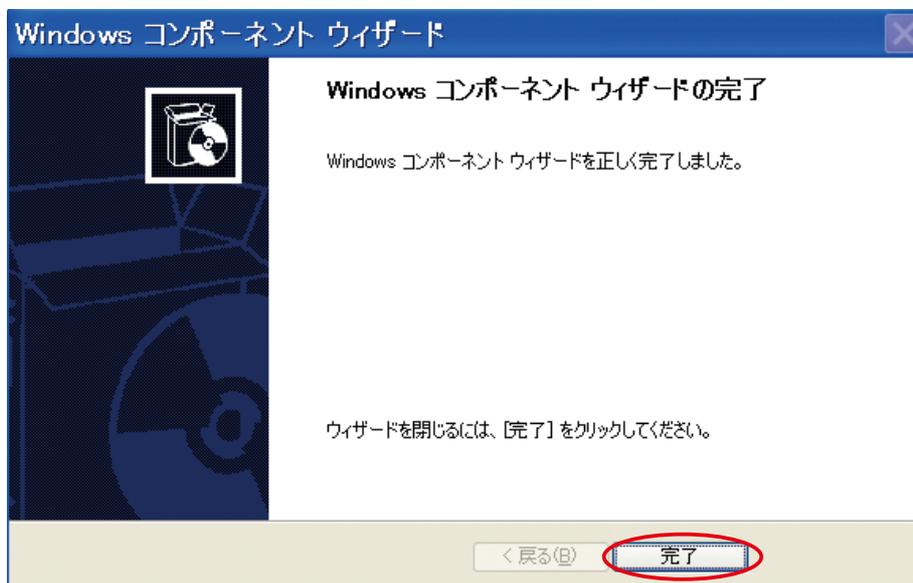
(4) 「UPnP ユーザインタフェース」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。



- (5) 元の「Windows コンポーネントウィザード」が表示されたら、「次へ」をクリックします。



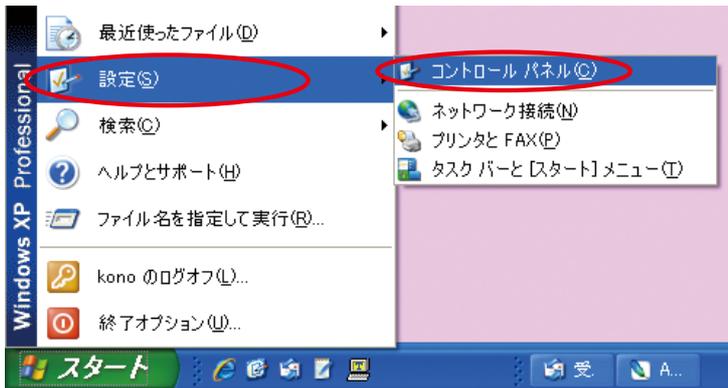
- (6) 約 1 分後、UPnP のインストールが完了します。「完了」をクリックしてウィンドウを閉じてください。



サービスの始動

インストール後、UPnP プロトコルを始動するために相対するサービスを始動する必要があります。以下の手順を参照してください。

- (1) スタートメニュー / 設定 / コントロールパネルをクリックします。



- (2) 「管理ツール」アイコンをダブルクリックします。



- (3) 「サービス」アイコンをダブルクリックします。



(4) 「SSDP Discovery Service」アイコンをダブルクリックします。



(5) 「スタートアップの種類」を「自動」にし、「OK」をクリックします。



(6) 「サービス」ダイアログが再度表示されるので、「Universal Plug and Play Device Host」アイコンをダブルクリックします。



(7) 「スタートアップの種類」を「自動」に設定し、「開始」ボタンをクリックします。



(8) システムを再起動します。

マイネットワークでの IP カメラスキャン

インストールおよび設定が完了したら、UPnP プロトコルは効果を発揮します。「マイネットワーク」の中で全ての IP カメラをスキャンすることができます。

UPnP IP Camera アイコンをダブルクリックするだけで、IP アドレスの割り当てが行われなくても、ビデオライブストリームがマイクロソフト Internet Explorer で自動的にポップアップします。

付録 B. ARP 機能

IP カメラのイーサネットインタフェースは、デフォルト IP アドレス (192.168.1.168) を持ちますが、ネットワークの構成に応じて、特有の IP アドレス (ネットワーク管理者に問い合わせてください) を取得する必要があります。

IP カメラの IP アドレスの初期設定には、IP カメラがクライアントと同じネットワークセグメントに接続されている必要があります。

IP アドレスは ARP と PING コマンドの組合せを使用して設定を行うことが可能です。

以下の内のいずれの方法でも、IP カメラのブーティング後 30 秒以内に IP アドレスを設定します。

以下のメソッドを使用した IP 設定は、イーサネットインタフェース上でのみ使用できます。

Windows または MS-DOS からの ARP と PING

ユーザは Windows98 オペレーションシステムから PC の MS-DOS ウィンドウを開くか、または Windows2000 あるいは WindowsXP から PC のコマンドプロンプトウィンドウを開くことが可能です。

- (1) DOS ウィンドウを開始します。
- (2) ブーティング後 30 秒以内に、以下を入力します。

```
arp -s <IP address> <Ethernet address>  
[or arp -s <IP address> <MAC address>]  
ping <IP address>
```

Example:

```
arp -s 192.168.1.100 00-0C-0C-00-00-01  
ping 192.168.1.100  
The IP address now is: 192.168.1.100.
```

UNIX または GNU/Linux からの ARP と PING

- (1) シェルを開始する。
- (2) superuser (root) として以下を入力します。

```
arp -s <IP address> <Ethernet address>  
[or arp -s <IP address> <MAC address>]
```

```
ping <IP address>
```

Example:

```
arp -s 192.168.1.100 00-0C-0C-00-00-01  
ping 192.168.1.100
```

新しいアドレスが設定されると、デバイスは上記の例のように PING を返します。このメソッドは IP アドレスを永続して設定することに留意してください。

付録 C. IP カメラの MPEG4 ビットレート参照用テーブル

(3) フレームレートが 15 フレーム / 秒 (15 は含まれません) 以上の時

| | Highest | High | Medium | Low | Lowest |
|----------|---------|------|--------|------|--------|
| FULL D1 | 3 | 2.5 | 2 | 1.5 | 1 |
| VGA | 2.63 | 2.25 | 1.75 | 1.31 | 0.88 |
| Half D1 | 1.5 | 1.25 | 1 | 0.75 | 0.5 |
| Half VGA | 1.31 | 1.13 | 0.88 | 0.67 | 0.44 |
| CIF | 0.75 | 0.63 | 0.5 | 0.38 | 0.25 |
| QVGA | 0.66 | 0.56 | 0.44 | 0.38 | 0.22 |
| ZOOM*2 | 3 | 2.5 | 2 | 1.5 | 1 |
| ZOOM*3 | 3 | 2.5 | 2 | 1.5 | 1 |
| ZOOM*4 | 3 | 2.5 | 2 | 1.5 | 1 |

(4) フレームレートが 15 フレーム / 秒またはそれ以下の時

| | Highest | High | Medium | Low | Lowest |
|----------|---------|------|--------|-------|--------|
| FULL D1 | 2.25 | 1.94 | 1.5 | 1.13 | 0.75 |
| VGA | 1.94 | 1.69 | 1.31 | 0.98 | 0.66 |
| Half D1 | 1.13 | 0.94 | 0.75 | 0.56 | 0.38 |
| Half VGA | 0.98 | 0.84 | 0.66 | 0.49 | 0.33 |
| CIF | 0.56 | 0.47 | 0.44 | 0.28 | 0.19 |
| QVGA | 0.5 | 0.44 | 0.34 | 0.25 | 0.19 |
| ZOOM*2 | 2.25 | 1.88 | 1.5 | 1.125 | 0.75 |
| ZOOM*3 | 2.25 | 1.88 | 1.5 | 1.125 | 0.75 |
| ZOOM*4 | 2.25 | 1.88 | 1.5 | 1.125 | 0.75 |

* 単位 : Mbps/ 秒

付録 D. FAQ

Q1 :

レコーディング中に SD カードを抜くことは出来ますか？

A1 :

出来ません。SD カードはレコーディングが 1 つのポイントに到達するまで抜くことが出来ません。"POWER"LED の点滅は、SD カードが稼動している合図です。赤い信号は、SD カードを抜けないことを警告しています。もし、SD カードがこのモードで抜かれると、カードは破損してしまいます。

Q2 :

モーションディテクション機能の設定を行いましたが、動作しているように見えません。

A2 :

機能を作動させる前に、「Motion range」および「Sensitivity」が設定されているか確認してください。

Q3 :

SD カードに保存された AVI ファイルを表示することができません。

これらのファイルを表示するためにはどうしたらいいですか？

A3 :

"<http://www.morgan-multimedia.com/>" で "Morgan M-JPEG codec" をダウンロードし、インストールしてください。次に「IJP Core」の選択を確認してください。

FXC-PV1210CN Management Guide (FXC11-DC-200005-R1.0)

初版 2011 年 2 月

- ◆ 本ユーザマニュアルは、FXC 株式会社が制作したもので、全ての権利を弊社が所有します。弊社に無断で本書の一部、または全部を複製 / 転載することを禁じます。
 - ◆ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
 - ◆ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますが、ご了承ください。
 - ◆ ユーザマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。
-

Management Guide
PV1210CN

Management Guide
PV1210CN